青森市埋蔵文化財調査報告書　第64集

市内遺跡

発掘調査報告書

平成13年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書　第64集

市　内　遺　跡

発掘調査報告書

平成13年度

青 森 市 教 育 委 員 会

序

青森市は、国の特別史跡である三内丸山遺跡や国史跡である小牧野遺跡など市民はもとより国民共有の財産として貴重な文化財を数多く抱えている街であります。

その一方、豊かで住みよいまちづくりをめざした大規模開発や小規模な開発が市内のいたるところで行われている状況にも置かれております。

当委員会では、これらの各種開発事業との円滑な調整を図りながら遺跡の保護を推進するために、平成４年度から市内遺跡発掘調査事業を継続実施しております。

本書は、平成13年度に実施した市内遺跡発掘調査事業の成果をまとめたものであり、本市における開発事業と埋蔵文化財の保護との円滑な調整において必要な資料を得ることができました。

最後に、調査を実施するにあたり文化庁、県文化財保護課をはじめ各関係者のご協力に対し深く感謝の意を表します。

平成14年３月

青森市教育委員会

教育長　**角田　詮二郎**

例　　言

１．本書は、国と県の補助金交付を受けて、平成13年度に実施した青森市内遺跡発掘調査事業の調査報告書であり、分布調査ならびに試掘・確認調査による調査成果を収録してある。

２．本書の執筆・編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一、児玉大成、設楽政健が担当した。執筆・作成分担については第Ⅱ・Ⅲ章は各調査担当がおこない文責を記した。それ以外の部分ならびに編集を木村が担当した。

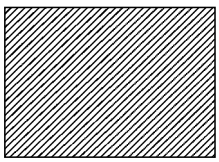
３．挿図の縮尺は、第Ⅱ・Ⅲ章の位置図のみ国土地理院発行の２万５千分の１の地図を等倍で利用し、真北を上辺に統一した。それ以外の図についてはスケールによって示し、方位は磁北で示した。また、掲載遺物についての縮尺は１／３を基本に一部の図版で１／２で取扱っており、スケールで表現した。なお、写真図版の縮尺は統一を図っていない。

４．土色の注記については、「新版標準土色帖」（小山正忠・竹原秀雄1993）に準拠した。

５．図版・写真図版及び表番号は、種別毎に通し番号とし、図版は第〇図、写真図版は写真〇、表は第〇表と表記した。

６．図版中で使用したスクリーントーン・表現方法は以下のとおりである。また、図版中で表現方法の異なる提示方法を用いた場合、凡例はその図版中に提示した。

地山



７．写真14で使用した赤外線写真は青森市史編さん室の赤外線カメラを使用した。

８．出土遺物及び記録図面・写真関係資料は、現在、青森市教育委員会で保管している。

目　　次

序
例言
目次

第Ⅰ章　事業実施の概要
第１節　調査目的 …… 1
第２節　調査要項 …… 1
第３節　事業照会の概要 …… 2

第Ⅱ章　新規登録・範囲変更・統合・名称変更遺跡
第１節　新規登録遺跡
1. 深沢（３）遺跡…… 7
第２節　範囲変更遺跡
1. 葛野（３）遺跡…… 8
2. 高間（６）遺跡…… 9
第３節　統合遺跡
1. 宮田館遺跡 ……10
2. 三内丸山遺跡 ……11
第４節　名称変更遺跡
1. 名称変更遺跡 ……12

第Ⅲ章　試掘・確認調査
第１節　三内丸山（６）遺跡 ……13
第２節　深沢（１）遺跡 ……17
第３節　合子沢松森（２）遺跡 ……25
第４節　大別内地区：八甲田霊園第２期造成工事予定地内試掘調査 ……27
第５節　月見野地区：東北新幹線建設に伴う土捨場造成予定地内試掘調査 ……33
第６節　三内沢部（３）遺跡 ……39
第７節　石江地区：石江土地区画整理事業予定地内試掘・確認調査 ……43

まとめ ……47

報告書抄録
既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

第Ⅰ章　事業実施の概要

第１節　調査目的

近年、市内の各所において、道路網の整備事業や大規模施設の建設などの大規模開発事業が増加しており、併せて宅地開発や下水道整備事業等市民の身近な生活のなかで必要とされる各種開発行為が継続しており、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡も増加している。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の遺跡の現況・範囲・数の把握や今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録などにより、市内に所在する遺跡に関する詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、市内に所在する周知の遺跡について、現況調査ならびに今後開発が予想される地域の分布調査を実施し、加えて開発行為に先立つ確認調査を実施するものである。

よって、この事業を国と県の補助金を受け、実施するものである。

第２節　調査要項

１．対象地域

①　分布調査

対象：市内全域

今年度は市内において、各開発事業が予定されている地域を重点地域とする。

②　試掘・確認調査

対象：駒込地区（深沢（１）遺跡）・三内地区（三内丸山（４）〔調査時：名称変更後三内丸山（６）〕遺跡・三内沢部（３）遺跡）・大別内地区（葛野（３）遺跡）・石江地区（高間（６）遺跡）・合子沢地区（合子沢松森（２）遺跡）、事業照会等による周知の遺跡の範囲内容確認及び遺跡空白地域における有無確認調査。

２．事業実施期間

平成13年４月１日～平成14年３月31日

３．調査担当機関

青森市教育委員会事務局文化財課

４．調査体制

調査事務局

青森市教育委員会

教　育　長	角田　詮二郎
事 務 局 長	三浦　賢伍（～平成13年５月31日）
〃	大柴　正文（平成13年６月１日～）

事務局参事
　文化財課長事務取扱　　遠藤　正夫
文化財課長補佐　　工藤　勝則
主　　査　　堀谷　久子（庶務担当）
主　　事　　川村　英穂（　〃　）
文化財主事　　木村　淳一（調査担当）
　〃　　児玉　大成（　〃　）
　〃　　設楽　政健（　〃　）

５．調査指導機関　　文化庁
　　青森県教育庁文化財保護課

６．調査方法

①分布調査

市内全域を対象とし、特に開発が予想される地域を重点的に踏査することによって、周知の遺跡の現況・範囲・数などの把握、開発によって消滅・破壊の危機に瀕している周知の遺跡のリストアップ、未発見の遺跡の発見登録などを行い、市内に所在する遺跡に関する基礎資料を整備する。また、開発申請のあった地区の現地立ち会いや周辺の踏査、一般市民からの情報提供をもとに分布調査を行う。踏査の結果、新たに発見された遺跡は青森市遺跡台帳ならびに青森県遺跡台帳に登録される。また、現況・範囲などに変更があった遺跡は、その都度、台帳を訂正する。

②試掘・確認調査

事業照会があった開発予定地内に埋蔵文化財包蔵地が所在もしくは所在するおそれのある場合、試掘調査を実施し、遺跡の範囲・性格・密度等の内容を調査する。未発見遺跡の場合、新たに台帳登録を行い、周知の遺跡についても範囲に変更があった場合には台帳を訂正する。

第３節　事業照会の概要

青森市教育委員会文化財課では、公共事業に関する土木工事等の開発行為や民間の各種開発行為に対して事前の遺跡地図による確認を実施し、必要に応じて分布調査を実施しており、平成12年度から本格的に試掘・確認調査を実施することとした。

遺跡の確認は、基本的に青森県景観条例・農振除外申請に基づく関係課からの照会以外に直接来庁し、確認するケースがほとんどで、平成13年度は４月～10月下旬までの約半年間強で57件の照会があった。

当課では広報等で開発行為の前に埋蔵文化財包蔵地の有無確認をしてほしいという周知活動を実施しており、その照会件数は増加傾向にある。また、関係課との連携についても整備途上の状況であり、今後対象件数は一層増加するものと予想される。

良心的な遺跡照会のケースが増える反面、周知の遺跡であることを確認の後、協議に応じず以降の連絡が途絶える悪質な業者も発生しており、今後パトロールを重視していく必要性が生じている。

第１表　文化財課来課各種開発事業照会（平成13年4月1日～10月31日）

A：周知の遺跡内、B：隣接地、C： 該当なし

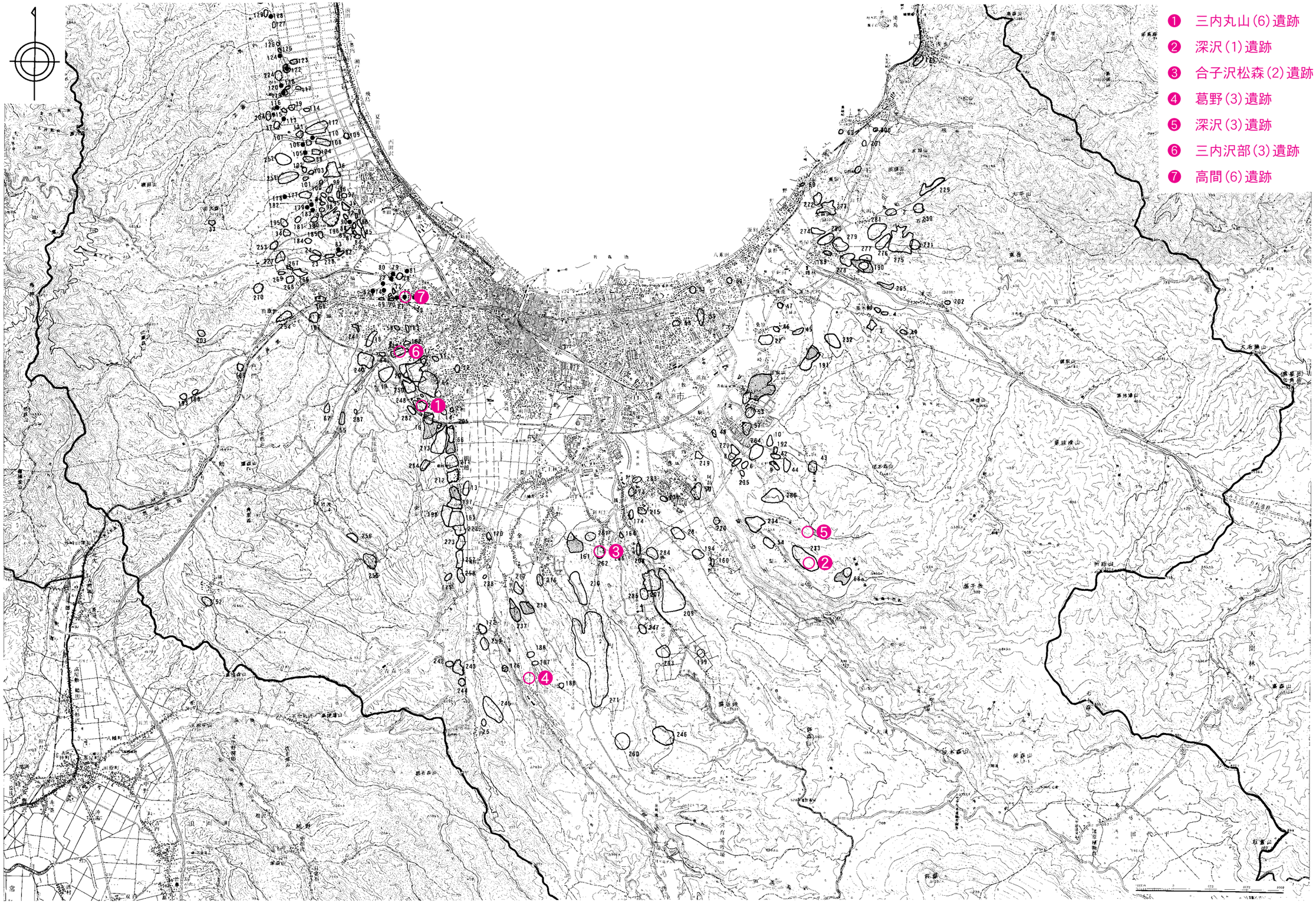
番号	月日	対象地	面積	開発行為	回答	備考
1	H.13.4.27	新町2-2-20			C	
2	H.13.5.8	安田近野1-105			A	3と同様
3	H.13.5.8	安田近野1-105	1,380㎡	資材置場	A	2と同様
4	H.13.5.14	浜田字豊田		共同住宅の建設	C	
5	H.13.5.21	沖館3丁目			C	
6	H.13.6.4	新城山田681-3			C	
7	H.13.6.4	八幡林品川4-7			C	
8	H.13.6.4	小舘亀山121-117		土地評価	C	
9	H.13.6.4	千刈4丁目110	1,500㎡	宅地分譲	C	
10	H.13.6.12	沖館4丁目	1,000坪	福祉施設	C	
11	H.13.6.13	妙見3丁目2-27		土地売却に伴う事前調査	C	
12	H.13.6.15	三内字沢部203-3	1,700㎡	土地分譲	C	0～1.25m盛土をする
13	H.13.6.15	造道3丁目		共同住宅の新築	B	
14	H.13.6.19	新城山田	330㎡	住宅	C	
15	H.13.6.19	岡造道1丁目	4,600㎡	分譲宅地	C	都市計画法第32条における事前協議
16	H.13.6.20	三内字沢部		不動産鑑定評価	C	
17	H.13.6.20	瀬戸子字神田		土地調査	C	
18	H.13.6.21	浜館2丁目		共同住宅の新築	C	
19	H.13.6.21	富田3丁目307-25	1,844㎡	宅地分譲	C	
20	H.13.7.2	油川字岡田		宅地分譲開発	C	
21	H.13.7.2	合子沢字松森128-1	47.04㎡	貯水槽建設	A	「合子沢松森（2）遺跡」に該当。試掘調査実施必要→7月25日実施
22	H.13.7.3	千刈1丁目	7,000㎡	宅地造成	C	事前協議前の確認
23	H.13.7.5	富田3丁目245-1	2,024.08㎡	宅地分譲造成	C	
24	H.13.7.5	（新城）			C	
25	H.13.7.10	新城字平岡160-573		不動産鑑定評価	C	
26	H.13.7.11	（柳町）		共同住宅の新築	C	
27	H.13.7.12	原別字海原			C	
28	H.13.7.16	（新町）		不動産売買予定	C	
29	H.13.7.24	三内字沢部315-1	4,000㎡	共同住宅の新築	A	「三内沢部（3）遺跡に該当」。8月22日試掘実施
30	H.13.7.30	（内真部）			C	
31	H.13.8.6	（石江）		共同住宅の新築	C	
32	H.13.8.8	港町地区・沖館地区	300㎡	基地局建設	C	
33	H.13.8.15	石江岡部20-1･28-2･28-3		共同住宅	A	「岡部遺跡」に隣接→開発予定変更
34	H.13.8.17	（沢山）		霊園	A	「沢山(3)遺跡」に該当、開発の際工事届要、ただし現地が削平地の為調査不要
35	H.13.8.17	八重田矢作			C	
36	H.13.8.20	大谷字山ノ内16-1	1,600㎡	工場	C	
37	H.13.8.20	（西田沢）			C	
38	H.13.8.24	（筒井字八ツ橋）			C	
39	H.13.8.30	浅虫字蛍谷202-3		不動産鑑定評価	C	
40	H.13.8.30	新城山田			-	具体的な開発等は未定
41	H.13.9.3	筒井桜川22-7			C	
42	H.13.9.5	安田字近野		宅地分譲	A	9月17日開発断念(相手側)
43	H.13.9.7	新町1-11-27			C	
44	H.13.9.7	羽白池上184-1付近	260坪	共同住宅	C	
45	H.13.9.7	八重田2丁目	570㎡		C	
46	H.13.9.11	八重田2丁目11-14		共同住宅の新築	C	
47	H.13.9.13	浪打2-4-11	265.74㎡	不動産売買予定	C	
48	H.13.9.13	三内丸山381-162	974㎡	不動産売買予定	A	「三内丸山（4）遺跡」該当・9月14日売買契約・要試掘を伝達→業者側からの連絡無
49	H.13.9.14	松森1-14-20		不動産調査	C	
50	H.13.9.27	三好2丁目		共同住宅の新築	C	
51	H.13.10.5	橋本2-18-12	291.88㎡	土地売却	C	
52	H.13.10.10	東造道2-38-3 東造道2-50-3 松森1-94-12 花園1-136-2		土地調査	C C C C	
53	H.13.10.16	中央3丁目	770㎡	土地査定	C	
54	H.13.10.17	中央2丁目1-18		不動産鑑定評価	C	
55	H.13.10.19	小舘字大柳77-2	1,611.77㎡	分譲	C	都市計画法に基づく事前協議なし
56	H.13.10.28	三内字里見32-1		不動産鑑定評価	C	
57	H.13.10.30	原別字上海原			C	

第２表　周知の遺跡内での立会調査

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	問題等	備考
1	H.13.5.17	野内字浦島	大浦遺跡	礫除去	無	地下に影響のない工事
2	H.13.5.29	滝沢字住吉	扇沢遺跡	工場建設（削平地）	無	削平地のため問題無、周辺の削平されていない部分では土器採取される為拡張予定がある場合協議要
3	H.13.6.4	野内字鈴森・浦島	野内遺跡	電柱移設	無	遺構・遺物なし

第３表　関係課照会分（平成13年4月1日～10月31日）

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H.13.4.3	岩渡字熊沢156-19外		砂利採取	無	砂利採取法
2	H.13.4.11	戸門字山部50		建築物の新築	無	景観条例
3	H.13.4.23	合子沢字松森259-18		建築物の増築	無	景観条例
4	H.13.4.23	新田３丁目116-1		工作物の新築	無	景観条例
5	H.13.5.9	新城平岡959-6		工作物の新築	無	景観条例
6	H.13.5.9	浅虫字山下203-71		工作物の新築	無	景観条例
7	H.13.5.9	野内字浦島62		工作物の新築	無	景観条例
8	H.13.5.11	戸門字土筆山221-54		岩石採取	無	岩石採取法
9	H.13.5.15	滝沢字下川原7-3外		区画形質の変更	無	景観条例
10	H.13.5.17	三本木字扇沢54-5		建築物の新築	無	景観条例
11	H.13.5.17	柳川１丁目42-18外		建築物の新築	無	景観条例
12	H.13.5.17	小橋字田川93-6外		資材置場	無	農業振興地域整備計画
13	H.13.5.17	油川字中道31-4		住宅	無	農業振興地域整備計画
14	H.13.5.17	諏訪沢字櫻川106-9		住宅	無	農業振興地域整備計画
15	H.13.5.17	諏訪沢字櫻川106-5		住宅	無	農業振興地域整備計画
16	H.13.5.17	宮田字玉水304-1	宮田館遺跡	住宅	有	農業振興地域整備計画。隣接部を青森県埋蔵文化財調査センターで調査済。平成14年度調査実施予定。
17	H.13.5.17	滝沢字下河原7-3外		資材置場	無	農業振興地域整備計画。9と同じ
18	H.13.5.31	岩渡字熊沢156-19外		砂利採取（面積変更）	無	1と同じ
19	H.13.6.4	新城平岡75-38外		土地買取	無	公有地の拡大の推進に関する法律第４条第１項関連
20	H.13.6.4	新城山田235-2外	新城山田(3)遺跡	土地買取	有	協議必要
21	H.13.6.7	新城山田673-20		温泉掘削	無	温泉法
22	H.13.6.7	三内丸山278-237	三内丸山(5)遺跡	温泉掘削	有	温泉法。周知の遺跡三内丸山（５）遺跡の隣接地
23	H.13.6.11	岩渡字熊沢156-18		土地買取	無	公有地の拡大の推進に関する法律第４条第１項関連
24	H.13.6.11	奥野３丁目7-1		建築物の改築	無	景観条例
25	H.13.6.18	岩渡字熊沢156-17		土地買取	無	公有地の拡大の推進に関する法律第４条第１項関連
26	H.13.7.11	中央４丁目14-23		工作物の新築	無	景観条例
27	H.13.7.11	諏訪沢字岩田51-1外		建築物の新築	無	景観条例
28	H.13.7.13	鶴ヶ坂山本54-132外		岩石採取	無	岩石採取法
29	H.13.7.18	新城山田300-132外		土地買取	無	公有地の拡大の推進に関する法律第４条第１項関連
30	H.13.7.26	岡造道１丁目129-4外		区画形質の変更	無	景観条例
31	H.13.7.30	浅虫字内野28		建築物の新築	無	景観条例
32	H.13.7.30	戸門土筆山189-2	土筆山(1)遺跡	工作物の新築	有	景観条例。土筆山（１）遺跡の隣接部分
33	H.13.7.30	鶴ヶ坂川合96-2		工作物の新築	無	景観条例
34	H.13.7.31	鶴ヶ坂山本54-129		岩石採取	無	岩石採取法
35	H.13.8.7	高田字朝日山374	朝日山(2)遺跡	工作物の新築・撤去	無	景観条例。平成12年度に県埋文が調査済。
36	H.13.8.7	浦町奥野624外		工作物の新築	無	景観条例
37	H.13.8.13	南佃2丁目74-1		温泉掘削	無	温泉法
38	H.13.8.16	羽白字沢田384-3		資材置場・駐車場	無	農業振興地域整備計画
39	H.13.8.16	高田字品川253・254		資材置場	無	農業振興地域整備計画
40	H.13.8.16	宮田字高瀬31-1外	玉水(3)遺跡	建築物	有	農業振興地域整備計画、協議要
41	H.13.8.16	四ツ石字里見257-1	四ツ石遺跡	建築物	有	農業振興地域整備計画、協議要
42	H.13.8.16	戸山字安原3-11		駐車場	無	農業振興地域整備計画
43	H.13.8.16	大矢沢野田126-13外		資材置場	無	農業振興地域整備計画
44	H.13.8.16	西田沢浜田379		建築物の増築	無	景観条例
45	H.13.8.20	堤町２丁目8-43		建築物の新築	無	景観条例
46	H.13.8.24	石江江渡52-3		建築物の新築	無	景観条例
47	H.13.9.3	鶴ヶ坂山本54-267		工作物の新築	無	景観条例
48	H.13.9.12	長島３丁目7-10外		工作物の新築	無	景観条例
49	H.13.9.12	横内字神田12-1外		建築物の新築	無	景観条例
50	H.13.9.27	合子沢字松森259-10		建築物の新築	無	景観条例。中核工業団地造成済地点
51	H.13.10.1	戸門字山部44		建築物の新築（変更）	無	景観条例
52	H.13.10.29	大谷字山ノ内16-1		建築物の新築	無	景観条例



第１図　平成13年度調査対象遺跡一覧

第Ⅱ章　新規登録・範囲変更・統合・名称変更遺跡

第１節　新規登録遺跡

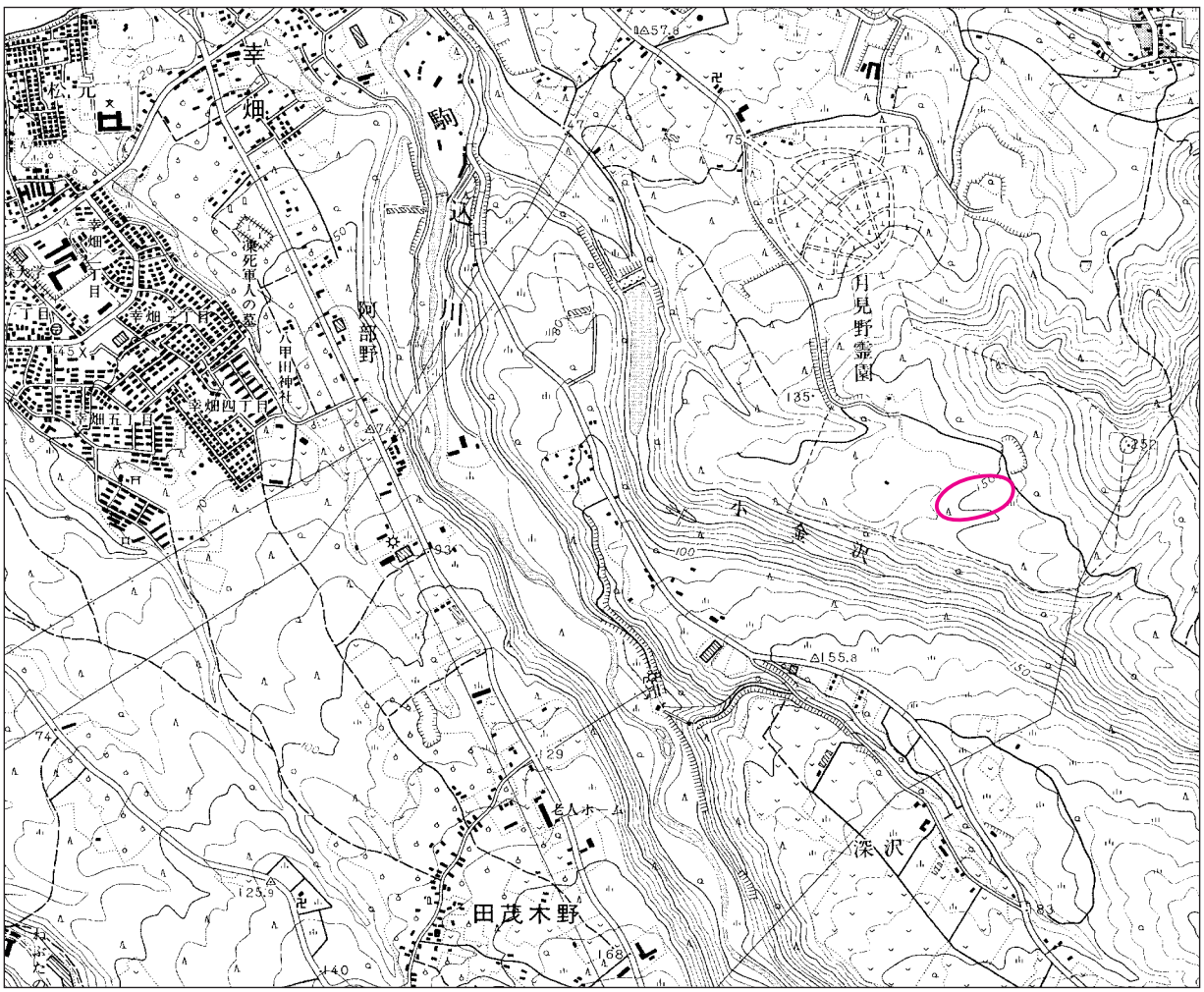
遺　跡　名	深沢（3）遺跡	立　　地	丘陵
遺跡番号	０１３１１	現　　況	山林
所　在　地	青森市大字駒込字深沢1-56ほか	時　　代	縄文・平安
種　　別	集落跡	遺　　物	縄文土器・土師器・須恵器

備　考

日本鉄道建設公団が計画した東北新幹線建設に伴う土捨場造成予定地区を対象とした試掘調査（平成13年７月６日～８月６日）により新規登録。試掘調査結果については本書第Ⅲ章第５節で報告。

開発予定者である鉄建公団との協議において、工事対象地区について発掘調査を平成13年10月11日～11月９日までで実施した。発掘調査は次年度も継続予定。

（木　村）



第２図　遺跡範囲図

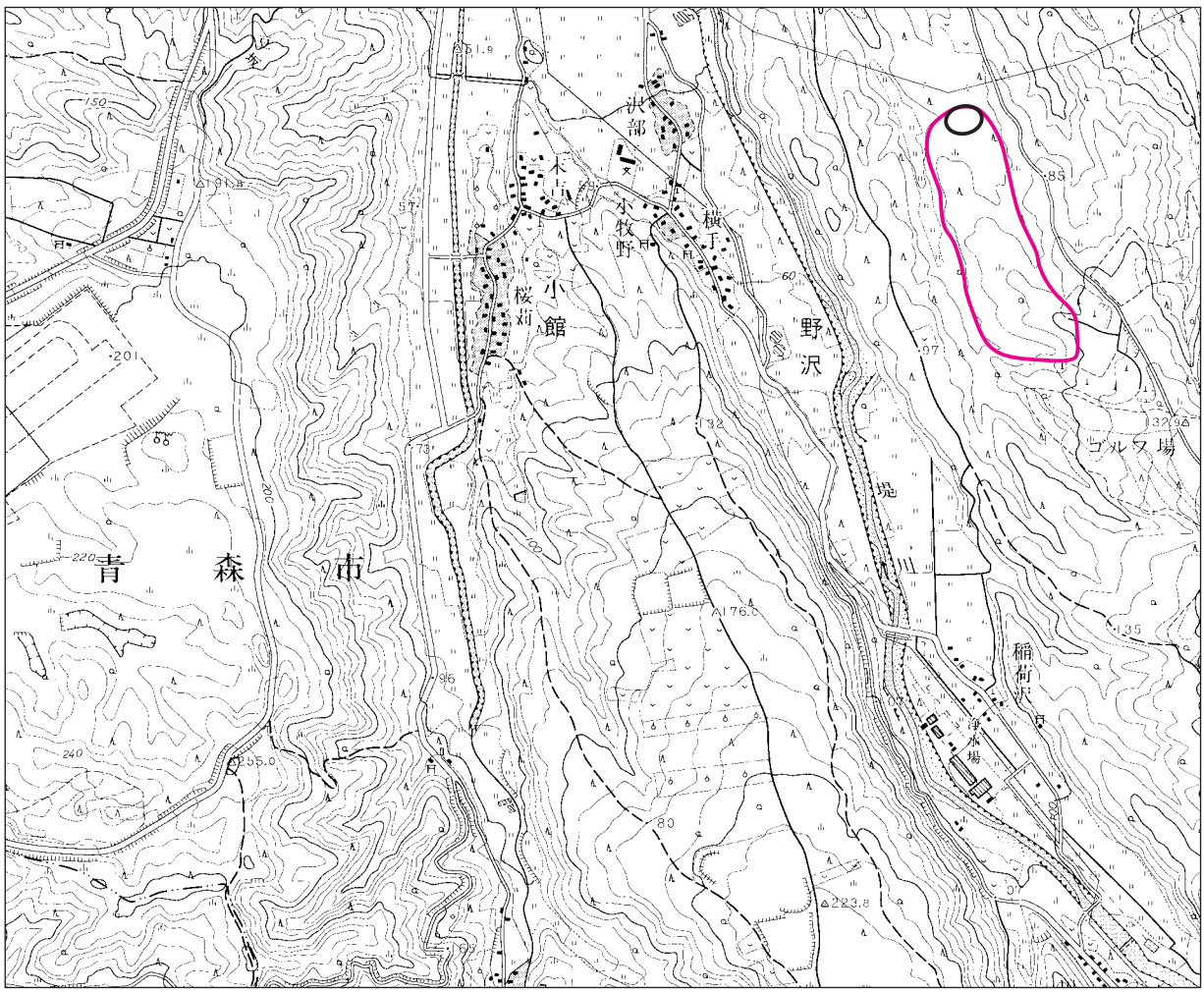
第２節　範囲変更遺跡

遺　跡　名	葛野（3）遺跡	立　　地	丘陵
遺跡番号	０１３０８	現　　況	山林
所　在　地	青森市大字大別内字葛野116-2	時　　代	縄文・弥生・平安・中世
種　　別	集落跡	遺　　物	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器

備　考

青森市（所管：市民生活課）の八甲田霊園第２期造成工事に先立つ試掘調査（平成13年５月９日～７月６日）で範囲拡張。試掘調査結果については、本書第Ⅳ章第４節で報告。

（設　楽）



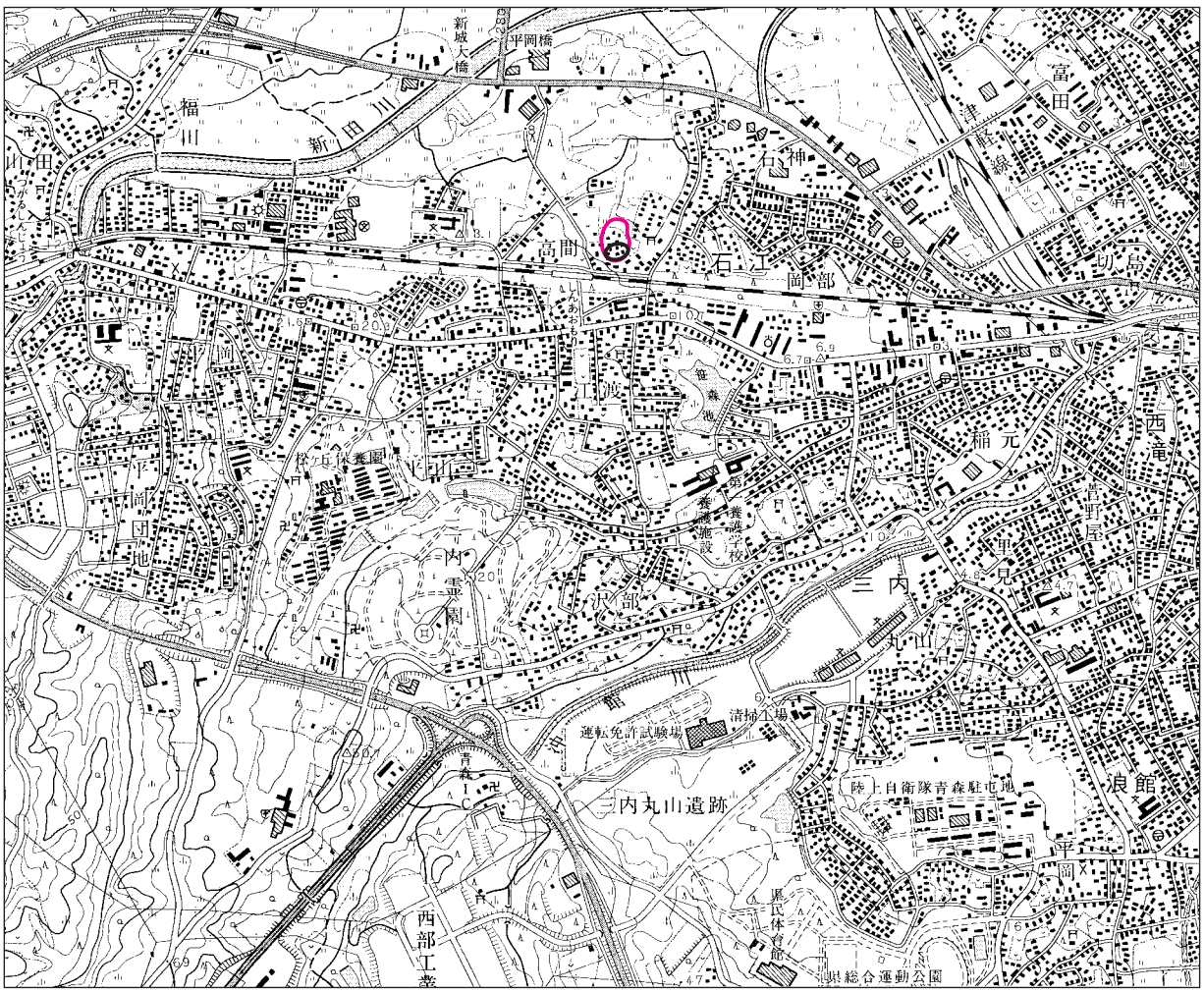
第３図　変更後遺跡範囲図

遺　跡　名	高間（6）遺跡	立　　地	沖積地
遺跡番号	０１０７５	現　　況	宅地・荒蕪地
所　在　地	青森市大字石江字高間122-1ほか	時　　代	平安・近代
種　　別	集落跡	遺　　物	陶磁器・木簡

備　考

石江地区土地区画整理事業に関する試掘・確認調査（平成13年10月15日～11月２日）で範囲拡張。調査結果については、本書第Ⅲ章第７節で報告。

（木　村）



第４図　変更後遺跡範囲図

第３節　統合遺跡

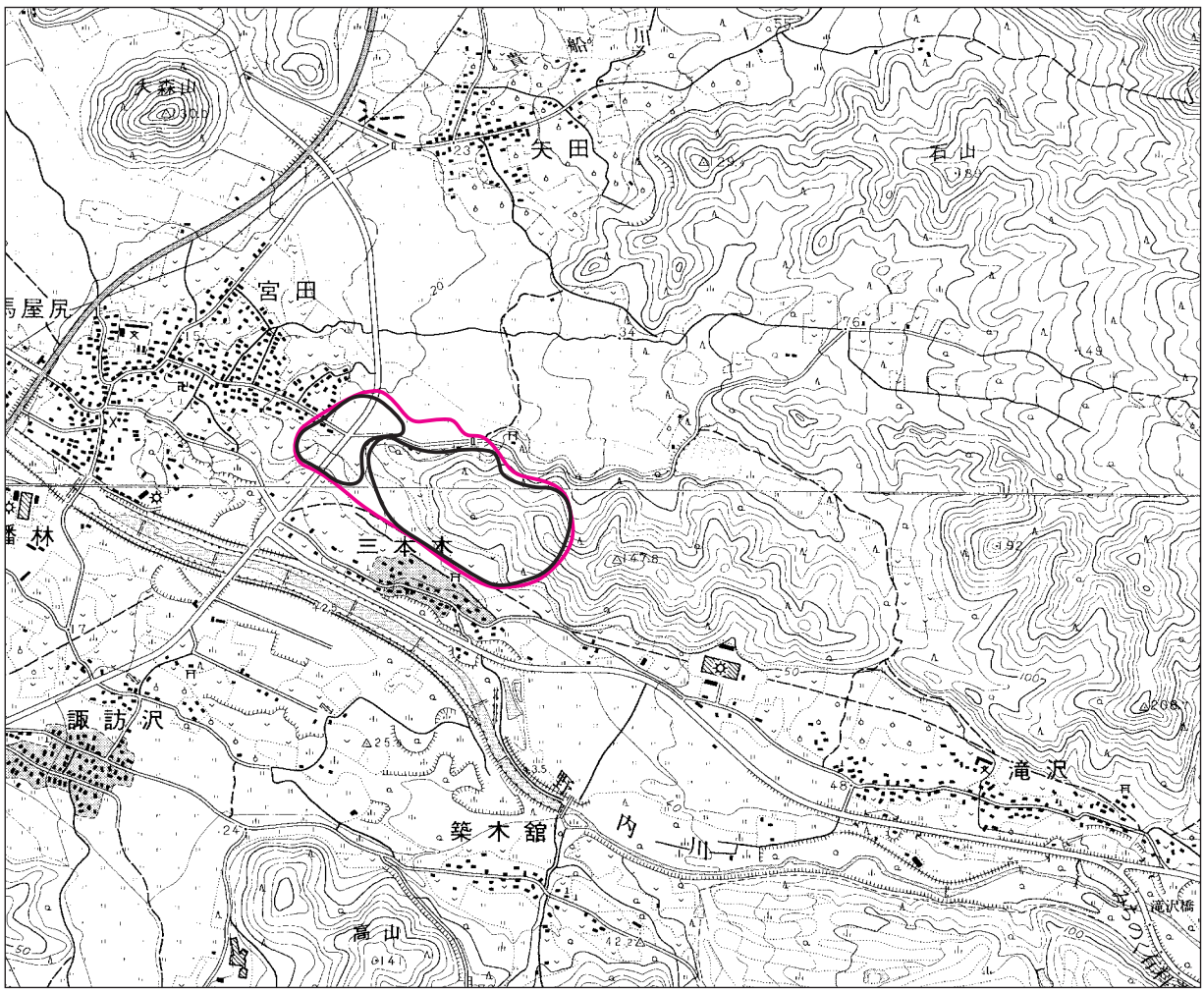
遺　跡　名	宮田館遺跡	立　　地	丘陵
遺跡番号	０１１９０	現　　況	山林・畑地
所　在　地	青森市大字宮田字玉水地内	時　　代	縄文・平安・近世
種　　別	集落跡	遺　　物	縄文土器・土師器・陶磁器

備　考

平成13年度に青森県教育委員会が実施した発掘調査成果に基づき玉水（２）遺跡（青森県遺跡番号０１２７８）と統合。名称は、宮田館遺跡とし、玉水（２）遺跡の遺跡番号は欠番扱いとする。

次年度に当委員会が宅地開発関連で発掘調査予定。

（木　村）



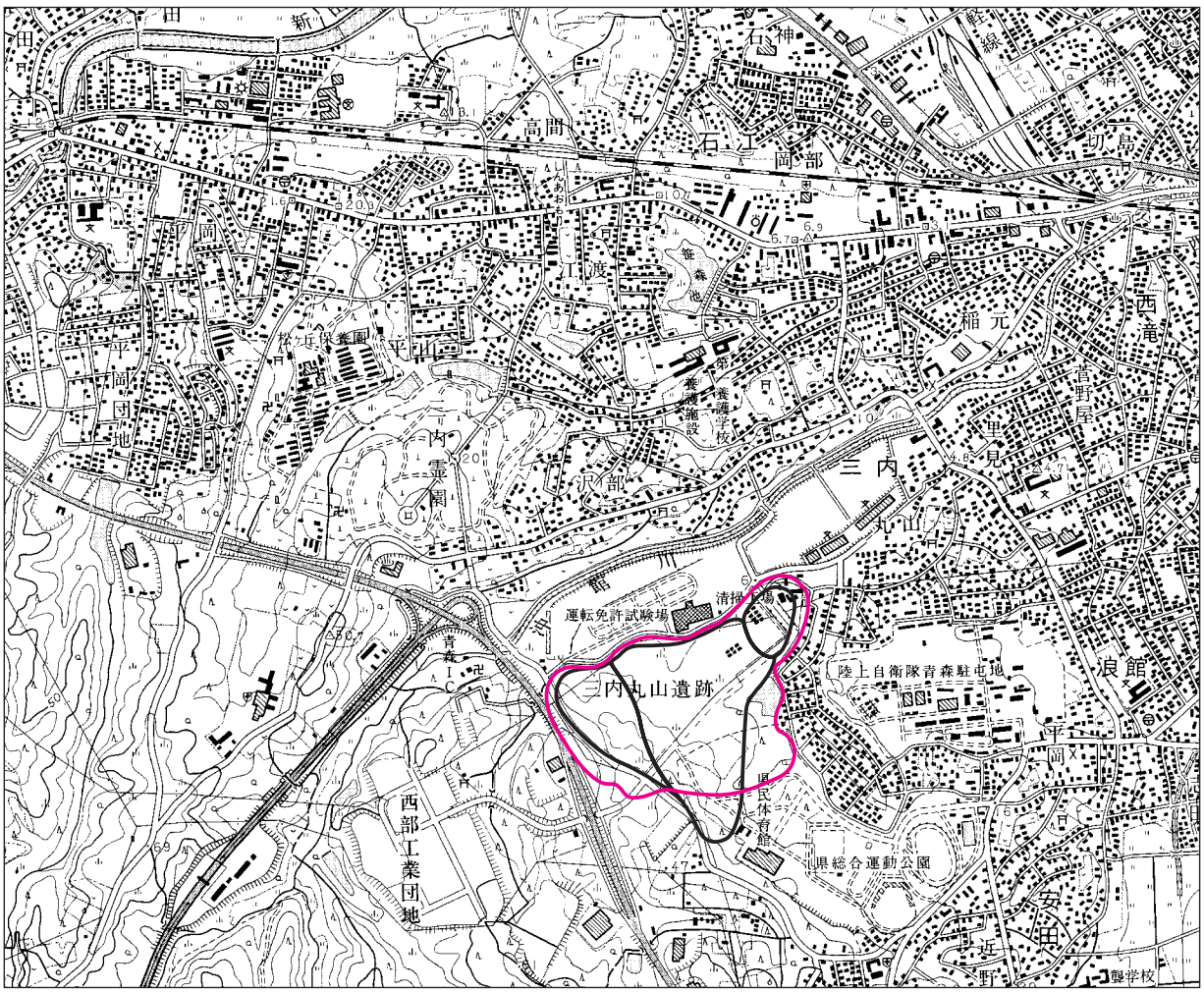
第５図　統合後遺跡範囲図

遺　跡　名	三内丸山遺跡	立　　地	丘陵
遺跡番号	０１０２１	現　　況	史跡公園・山林
所　在　地	青森市大字三内字丸山284ほか	時　　代	縄文・平安・中世
種　　別	集落跡	遺　　物	縄文土器・石器

備　考

青森県教育委員会と協議のうえ、三内丸山（２）遺跡（青森県遺跡番号０１０２１）、小三内遺跡（０１０１７）と近野遺跡（０１０６５）の一部を統合。統合に伴う遺跡名称変更については第４節を参照。

（木　村）



第６図　統合後遺跡範囲図

第４節　名称変更遺跡

１．名称変更遺跡

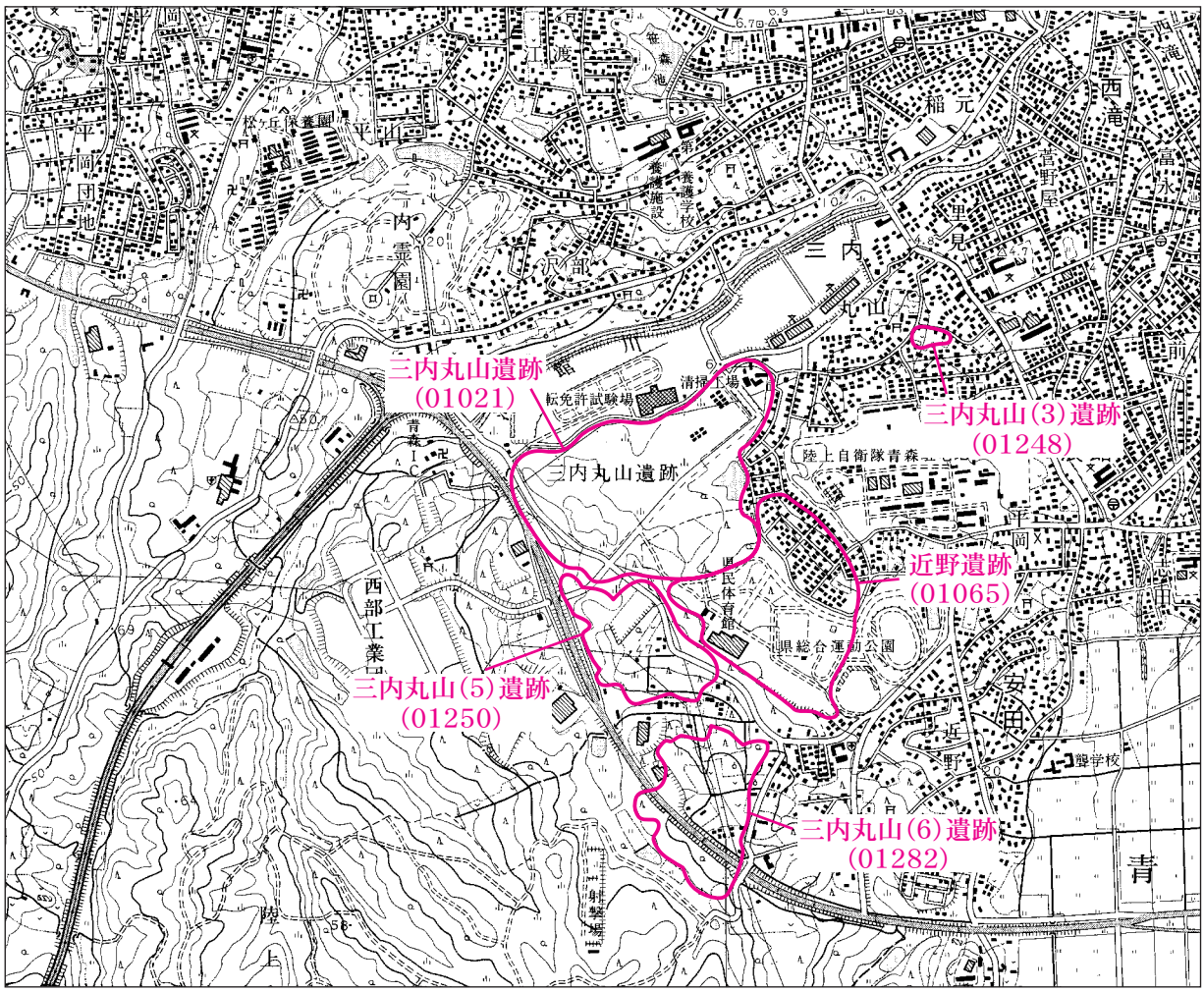
前節の遺跡の統合に伴い三内丸山地区の遺跡名称・遺跡台帳番号が変更となった。

三内丸山（１）遺跡（０１０２０）
三内丸山（２）遺跡（０１０２１）
小三内遺跡（０１０１７）
⇒　三内丸山遺跡（０１０２１）

三内丸山（３）遺跡（０１２４８）
三内丸山（５）遺跡（０１２５０）
⇒　三内丸山（５）遺跡（０１２５０）

三内丸山（４）遺跡（０１２４９）
三内丸山（６）遺跡（０１２８２）
⇒　三内丸山（６）遺跡（０１２８２）

三内丸山（７）遺跡（０１２９１）　⇒　三内丸山（３）遺跡（０１２４８）



第７図　三内丸山地区名称変更後遺跡範囲図

第Ⅲ章　試掘・確認調査

第１節　三内丸山（６）遺跡

調査対象等

１．調査地：青森市大字三内字丸山381－40

２．開発行為：宅地分譲造成予定

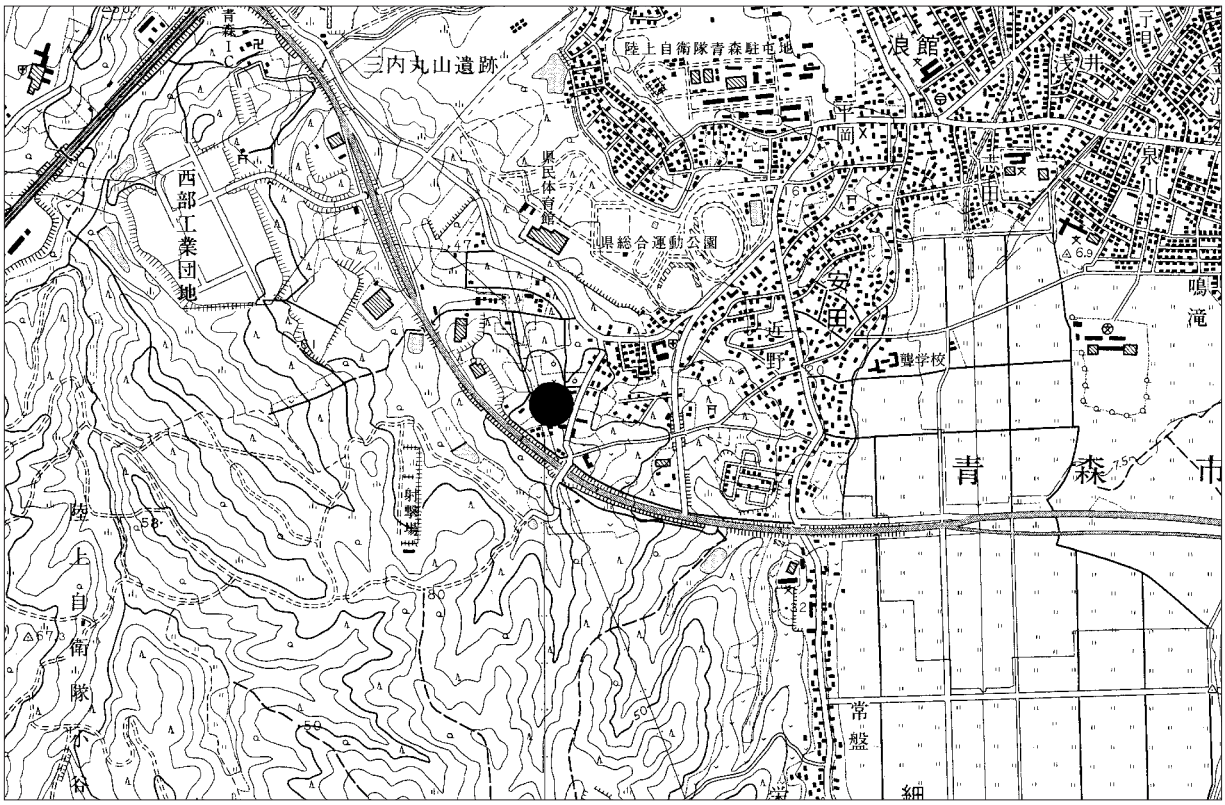
３．調査期間：平成13年５月15日

調査に至る経過

平成12年度の冬に周知の遺跡である三内丸山（４）遺跡（調査実施当時青森県遺跡台帳番号０１２４９。遺跡の統合後三内丸山（６）遺跡〔青森県遺跡台帳番号０１２８２〕の遺跡範囲内に該当）内で、民間の宅地分譲造成計画があることが開発予定者の埋蔵文化財包蔵地有無確認の書類照会の際に判明した。協議の結果、平成12年度中には積雪等の要因もあり、調査の実現は難しいため、平成13年度の消雪後に確認調査実施の方向性となった。

調査方法

開発予定地内約2,880㎡内を重機によるトレンチ掘りで任意に６地点を掘削し、鋤簾がけにより遺構の有無確認を実施した。総調査面積は約473㎡である。



第８図　位置図

トレンチの呼称は調査着手順とし、遺物取り上げについてもトレンチ単位で取扱った。

調査結果

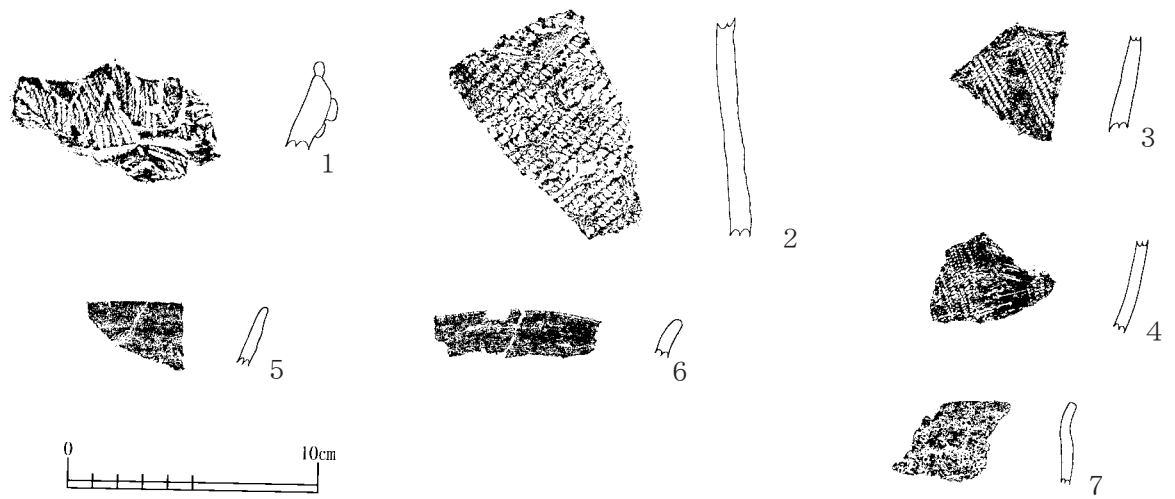
トレンチ毎に記述する。トレンチ１＝48㎝、遺構：平安時代竪穴住居跡１軒、土坑１基、遺物：縄文土器・土師器。トレンチ２＝25㎝、遺構：土坑１基、遺物：土師器。トレンチ３＝31㎝、遺構：なし、遺物：縄文土器。トレンチ４＝38㎝、遺構：なし、遺物：土師器。トレンチ５＝43㎝、遺構：なし、遺物：縄文土器。トレンチ６＝30㎝、遺構：なし（撹乱層）、遺物：なし。

遺構はトレンチ１・２から認められ、遺物はトレンチ１～５で認められた。遺構はＢ－Ｔｍ火山灰がブロック状に混入している竪穴住居跡とＴｏ－ａ火山灰が混入する土坑で、概ね本市内で主体的に検出する平安時代の集落跡で検出する事例と同様である。遺物は縄文時代中期円筒上層ｄ式期に属するものと考えられる縄文土器と細片であるため詳細は不明であるが、下限を10世紀中葉段階とする土師器が出土した。周知の遺跡三内丸山（６）遺跡（調査時三内丸山（４）遺跡）内の範囲であると認められたが、本調査必要範囲については西側の約半分が必要であると認定した。調査結果を開発予定者側に伝えた結果、開発計画を中止する方向性となった。

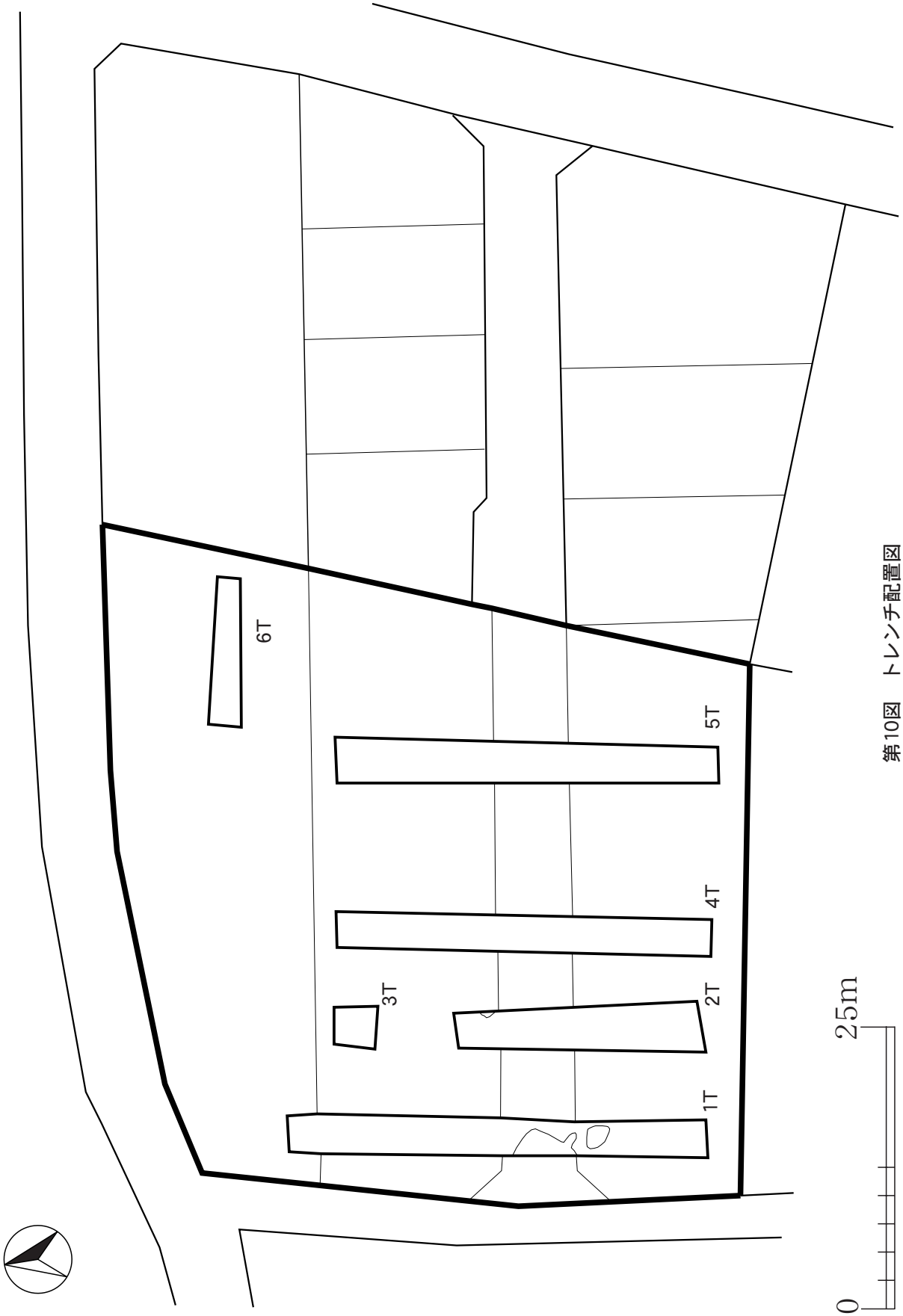
（木　村）

第４表　三内丸山(6)遺跡土器観察表

図版番号	出土区	層位	種別	器種	外面調整	内面調整	備考
9-1	トレンチ１	包含層	縄文土器	深鉢	撚糸Ｌ圧痕、貼付隆帯	ミガキ	縄文中期
9-2	トレンチ３	包含層	縄文土器	深鉢	結束ＬＲ	ミガキ	縄文中期
9-3	トレンチ１	包含層	縄文土器	深鉢	ＲＬ+粗いナデ	粗いナデ	縄文晩期
9-4	トレンチ１	包含層	縄文土器	深鉢	ＲＬ+粗いナデ	粗いナデ	縄文晩期
9-5	トレンチ１	住居上面	土師器	椀	ロクロナデ	ロクロナデ	平安
9-6	トレンチ１	住居	土師器	甕	ナデ	ナデ	平安
9-7	トレンチ１	住居	土師器	小甕	ナデ	ナデ	平安



第９図　出土土器



第10図　トレンチ配置図

作業風景

トレンチ１内住居跡（NE→）

トレンチ５（S→）

トレンチ３遺物出土状況

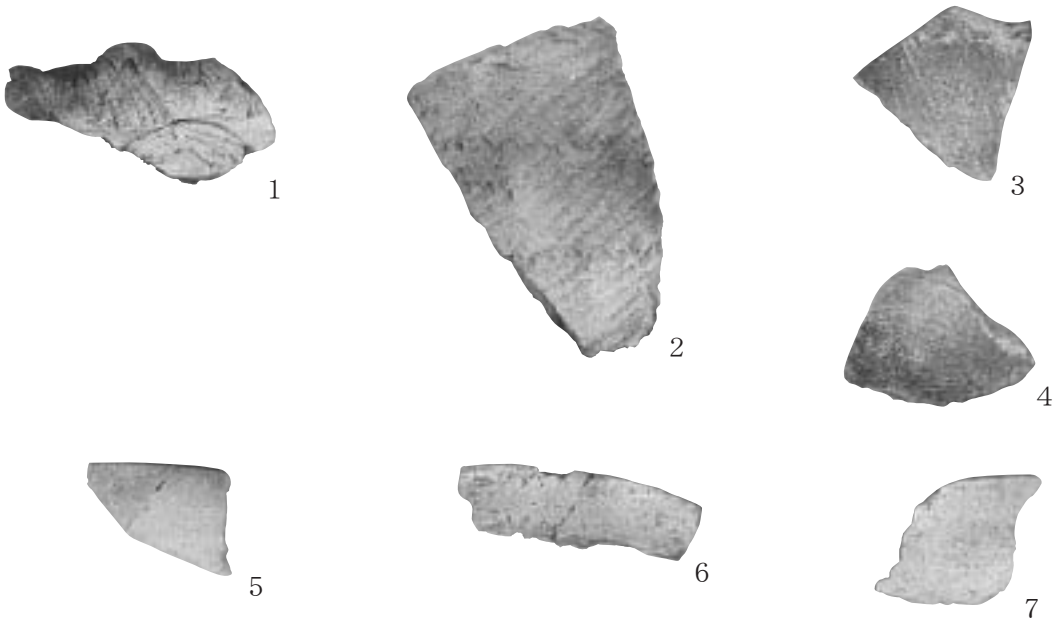


写真１　三内丸山（６）遺跡

第２節　深沢（１）遺跡

調査対象等

１．調査地：青森市大字駒込字深沢1185－10ほか

２．開発行為：土地調査

３．調査期間：平成13年5月23日～30日

調査に至る経過

民間のコンサルティング会社より用地取得などの土地調査を目的とした埋蔵文化財包蔵地の有無の照会があった。照会の結果、その候補地中に、青森市駒込地区の深沢（１）遺跡（青森県遺跡台帳番号01233）が該当することが判明した。当委員会では、深沢（１）遺跡の内容確認や発掘調査の判断資料を得ることを目的に、試掘調査を実施することとした。

調査方法

試掘調査は、深沢（１）遺跡の範囲全体（約250,000㎡）のうち西側周辺部（登記簿上132,192㎡）を調査対象に実施した。調査対象区域は、松やミズナラなどの樹木が繁茂する山林であるため、その合間を縫ってトレンチを27ヶ所設置（1,505㎡）した（第11図）。各トレンチは重機で表土除去を行った。

調査結果

堆積土

調査の結果、Ⅰ層からⅦ層までの土層の堆積が確認され、各トレンチにおいてⅠ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ層はほぼ連続した堆積状況となっている（第12・13図）。各土層の概要は次のとおりである。

Ⅰ層　黒褐色土（10YR　3/２）　表土層（撹乱含む）。

Ⅱ層　黒色土（10YR　2/1）　シルト。

Ⅲ層　褐色土（7.5YR　4/3）　粘性のシルト。窪地などに堆積することが多い。

Ⅳ層　黒褐色土（10YR　2/2）シルト。

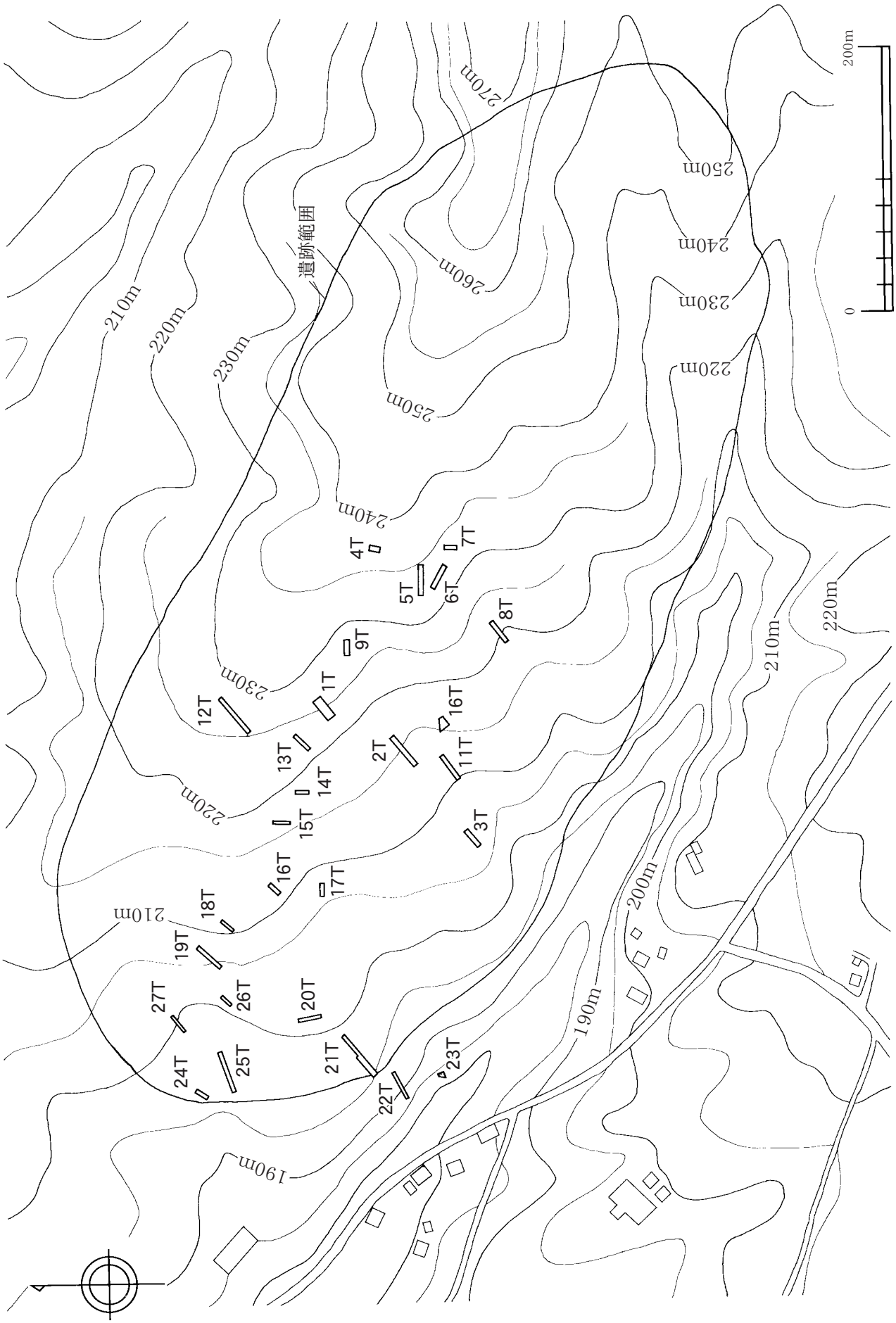
Ⅴ層　黒色土（10YR2/1）シルト。堆積の厚いトレンチで確認される。

Ⅵ層　褐色土（10YR　4/4）　ローム混じりのシルト。ⅣまたはⅤ層とⅦ層との漸移層。

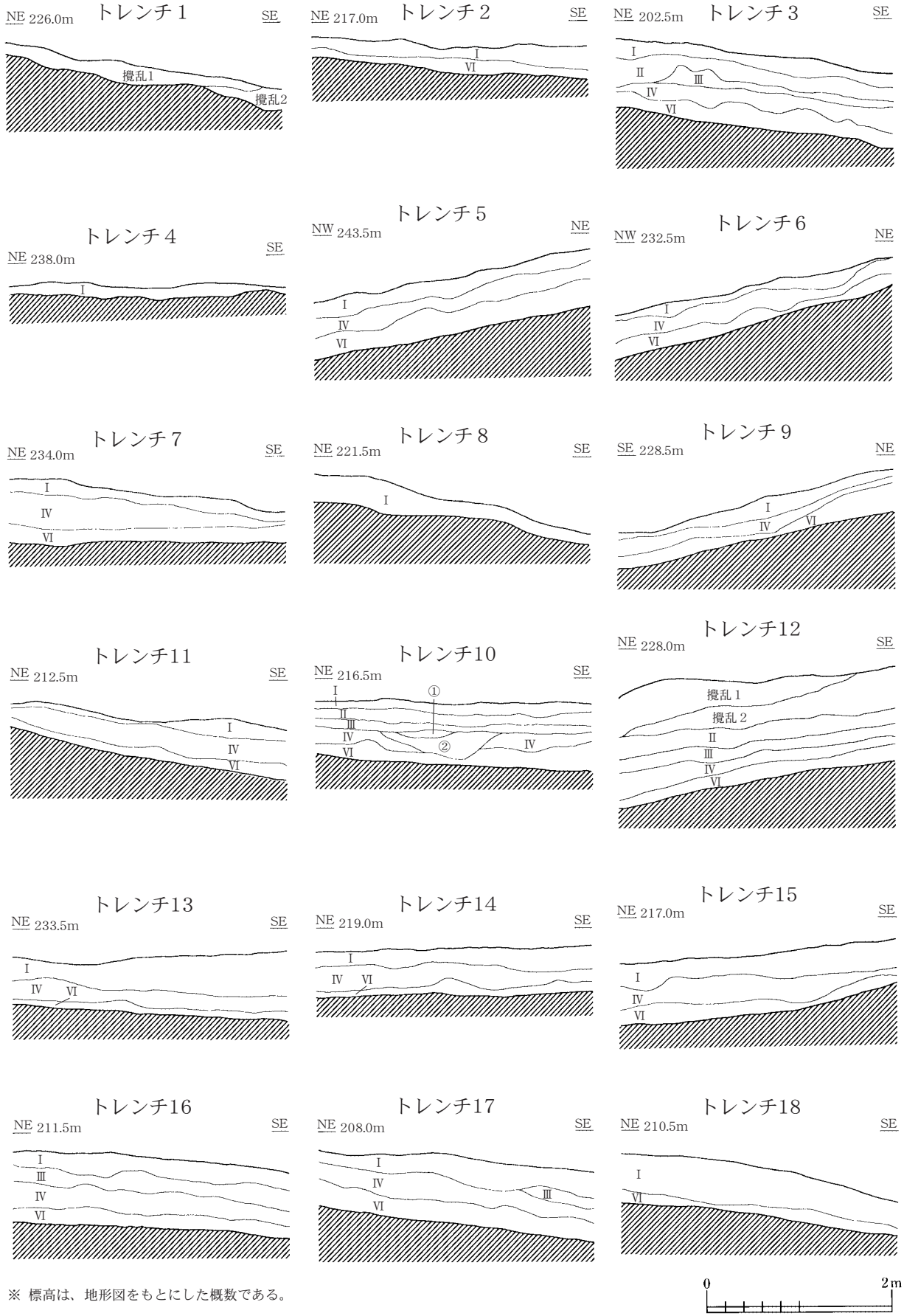
Ⅶ層　黄褐色土（10YR5/6）浮石質のローム。この下位には粘土質のロームが堆積。

検出遺構

遺構は、トレンチ11および22より検出された（第13図）。トレンチ11では、トレンチの北西隅よりフラスコ状土坑が確認された。フラスコ状土坑は、平面形が円形で開口部径90×81㎝、坑底部径114×108㎝、地山からの深さ30㎝を測り、１層のみの自然堆積土が確認された。時期は、遺物が出土していないため不明である。トレンチ22では、そのほぼ中央よりⅢ状の土坑が確認された。土坑は、平面径が楕円形で開口部径104×77㎝、坑底部径85×57㎝、地山からの深さ14㎝を測り、底面には焼土が確認された。時期は、遺物が出土していないため不明であるが、周囲の撹乱層に伴うものであることから近現代のものである可能性が強い。

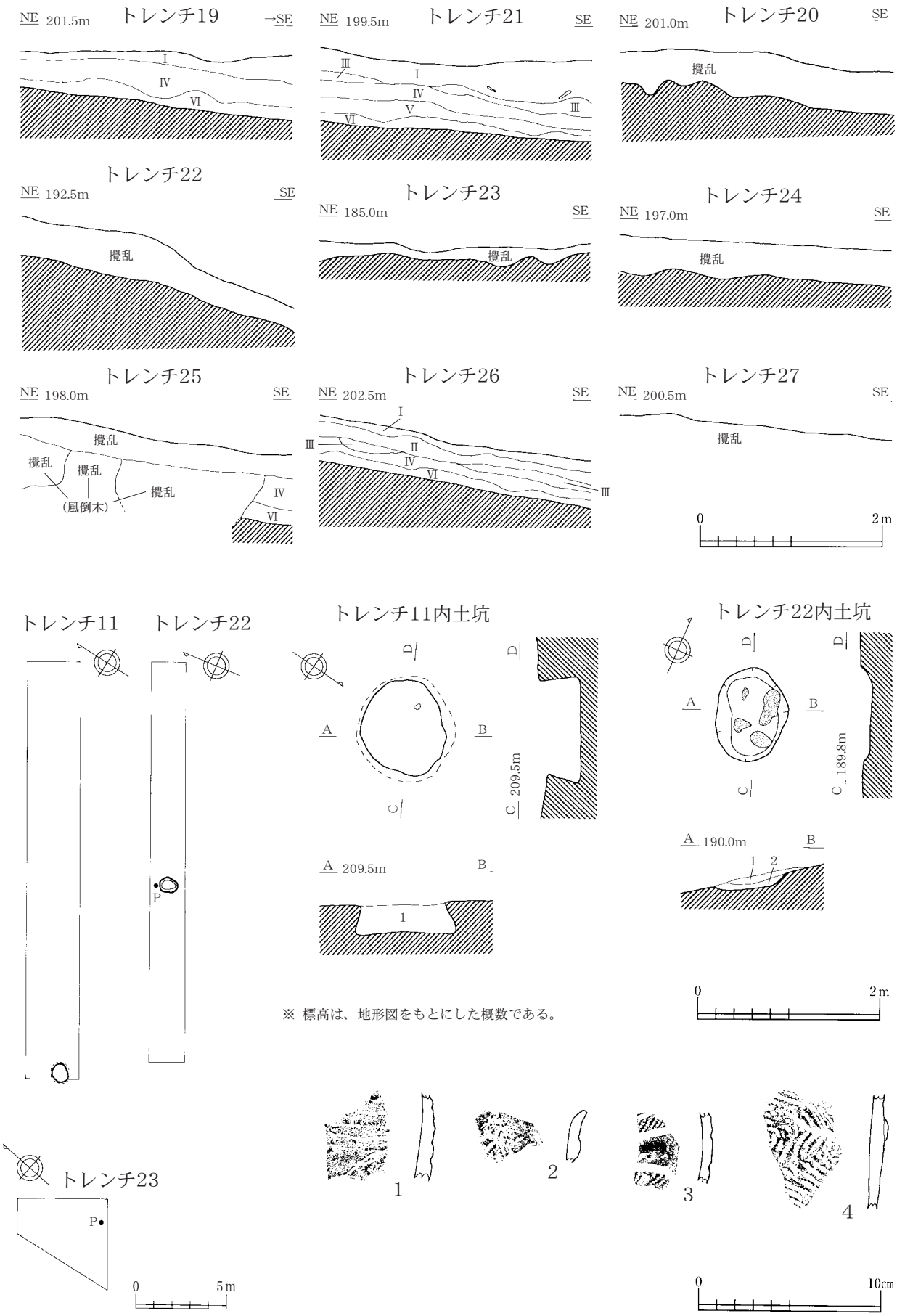


第11図　深沢(1)遺跡範囲図ならびにトレンチ位置図



※ 標高は、地形図をもとにした概数である。

第12図　土層堆積図



第13図　土層堆積図、土坑位置図、トレンチ11・22内土坑実測図、遺物図

出土遺物

今回の調査により、縄文時代の土器片が４点確認された（第13図）。１は、トレンチ21のⅠ層から出土したもので、縄文後期前葉の十腰内Ⅰ式土器に属する深鉢形土器である。平行する隆沈線文と曲線を描く沈線文が施されている。２は、トレンチ22の撹乱層より出土し、位置的には土坑のすぐ傍で確認されたが共伴遺物ではない。縄文後期前葉の十腰内Ⅰ式土器に属する深鉢形土器である。やや外反する口縁部にRL？縄文が施されている。３は、トレンチ23の撹乱層より出土したもので、縄文後期初頭の蛍沢式に属する深鉢形土器である。曲線を描く沈線文間にRL縄文が充填されている。４は、23トレンチ付近より表面採集した縄文中期の円筒上層式に属する深鉢形土器である。撚糸圧痕がみられる隆帯、結節RL羽状縄文が施されている。

所見

今回の調査により、深沢（１）遺跡の西側については、遺構・遺物とも希薄的であることが確認された。将来的に開発が見込まれる場合には、フラスコ状土坑を検出したトレンチ11の周辺部については、遺構の分布や所属時期などを確認する必要がある。遺物を数点確認したトレンチ21～23の周辺部については、埋蔵文化財専門職員立会いのもとでの慎重工事などを検討しなけらばならない。

（児　玉）

第５表　深沢（１）遺跡土器観察表

図版番号	出土区	層　位	分類	器種	外面特徴・調整	内面特徴・調整	備考
13－１	トレンチ21	Ⅰ層	十腰内Ⅰ式	深鉢	隆沈線文、曲線文	雑なミガキ	縄文後期
13－２	トレンチ22	撹乱層	十腰内Ⅰ式	深鉢	RL？縄文	やや雑なミガキ	縄文後期
13－３	トレンチ23	撹乱層	蛍沢式	深鉢	曲線文、RL縄文	やや雑なミガキ	縄文後期
13－４	トレンチ23付近	表面採集	円筒上層式	深鉢	隆帯（撚糸圧痕）、結節RL羽状縄文	やや雑なミガキ	縄文中期

遺跡から青森湾を望む（S→）

発掘前風景（NE→）

トレンチ１　完掘（NE→）

トレンチ３　セクション（NW→）

トレンチ10　セクション（NW→）

トレンチ11　セクション（NW→）

トレンチ11　完掘（NE→）

トレンチ15　セクション（NE→）

写真２　深沢（１）遺跡①

トレンチ17 火山灰検出状況（E→）

トレンチ18 完掘（NE→）

トレンチ21 完掘（NW→）

トレンチ21 セクション（NE→）

トレンチ22 セクション（NW→）

トレンチ22 完掘（NE→）

トレンチ23 完掘（NE→）

トレンチ27完掘（NE→）

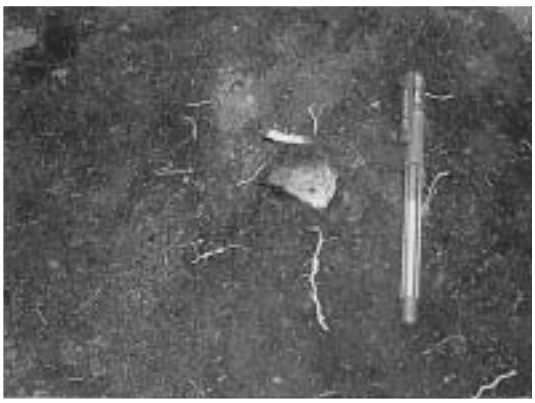
写真３　深沢（１）遺跡②

トレンチ11 土坑セクション（NE→）

トレンチ11 完掘（NE→）

トレンチ22 セクション（S→）

トレンチ22 土坑完掘（E→）



トレンチ22 遺物出土状況

トレンチ23 遺物出土状況

写真４　深沢（１）遺跡③

第３節　合子沢松森（２）遺跡

調査対象等

１．調査地：青森市大字合子沢字松森128－1

２．開発行為：防火貯水槽埋設予定

３．調査期間：平成13年7月26日

調査に至る経過

青森地域広域消防事務組合消防本部が計画していた防火貯水槽埋設予定地について、埋蔵文化財包蔵地の有無を照会があった。照会の結果、合子沢松森（２）遺跡（青森県遺跡台帳番号　01262）との重複を確認した。このため発掘調査の要否の判断資料を得ることを目的に、当委員会で試掘調査を実施することとなった。

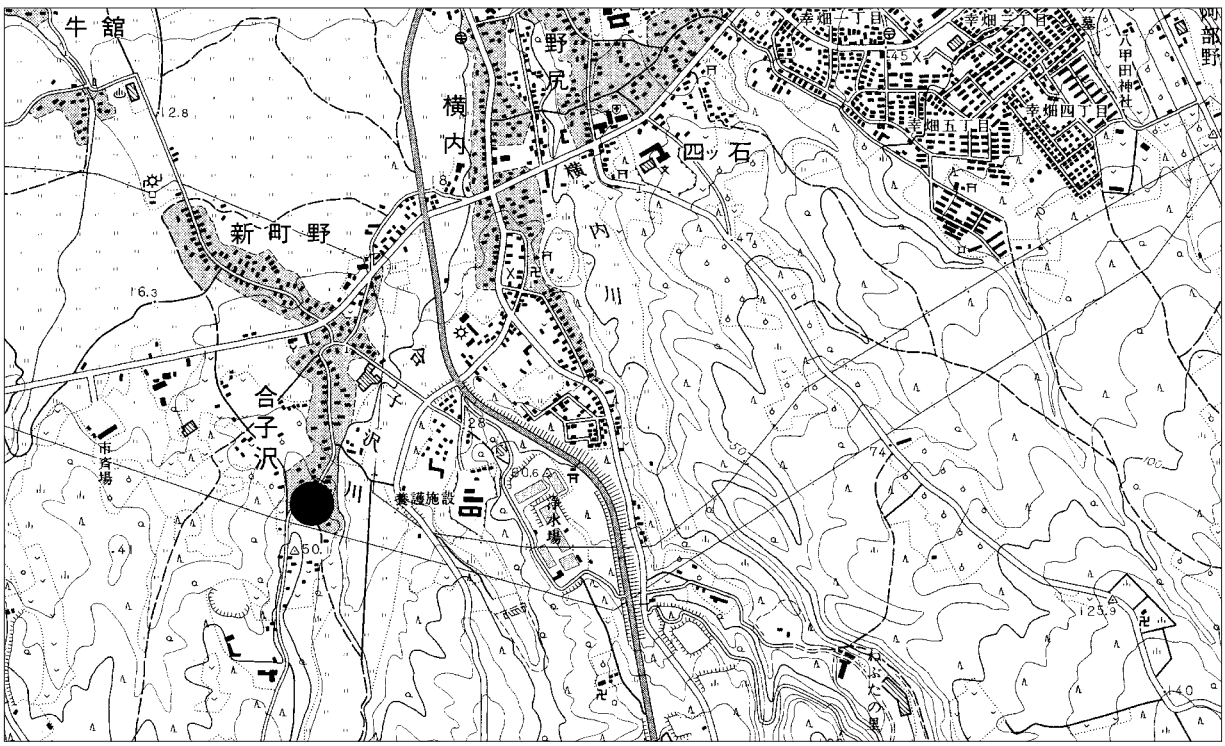
調査方法

防火貯水槽埋設予定地は、遺跡登録時に土器片が採集された畑地の隣接地にあたり、十和田神社の境内、8m10㎝×5m60㎝（45.36㎡）の範囲が工事の対象となっている。試掘調査は、そのうち5m×5m（25㎡）の範囲で約55％を対象とし、重機で表土除去を行った（第15図）。

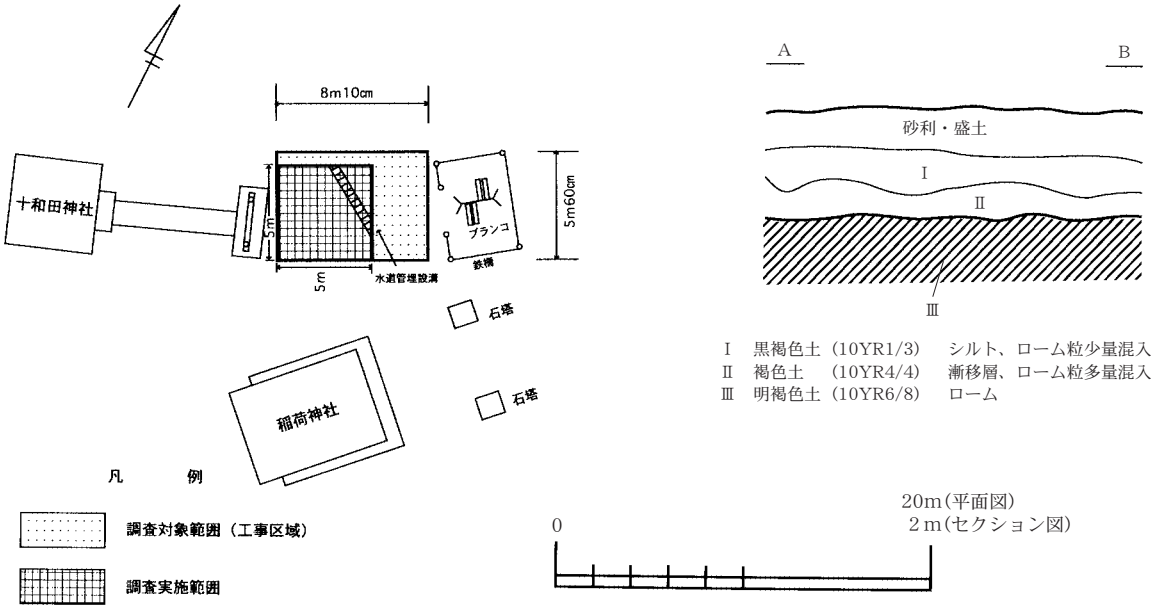
調査結果

調査の結果、水道管による掘削溝以外は、プライマリーな土層の堆積が確認されたが、遺構はもとより遺物の出土も認められなかった。よって、発掘調査を不要と判断し、慎重工事扱いとした。

（児　玉）



第14図　位置図



第15図　合子沢松森（２）遺跡、調査区域図及びセクション図

調査前の状況

土層断面

水道管埋設溝確認状況

完掘状況

写真５　合子沢松森（２）遺跡

第４節　大別内地区：八甲田霊園第２期造成工事予定地内試掘調査

調査対象等

１．調査地：青森市大字大別内字葛野地内

２．開発行為：公共施設建設（八甲田霊園第２期造成工事）

３．調査期間：平成13年５月９日～７月６日

調査に至る経過

青森市南西部に所在する八甲田霊園において、既存の墓地区画から北側に向かって霊園を約７万㎡にわたって拡張する計画が青森市によって計画された。昨年度、その北側の一部にあたる調整池予定地の試掘調査を実施した結果、新たに遺跡を検出し、葛野（３）遺跡として新規登録した。今年度はその南側の66,677㎡（Ａ工区部分；61,903㎡＋土取場部分；4,774㎡）を対象範囲として、埋蔵文化財の有無確認を行い、来年度以降の発掘調査必要区域を確定することを目的とした。試掘調査面積は5,308㎡である。

調査方法

昨年度と同様に調査対象範囲の現況は樹木が繁茂する山林であった。地形や現況に応じてトレンチを設定し、重機によって表土を除去し人力で遺構確認を行った。各トレンチについては、墓地区画のラインを基に設定したグリッド（40×40m）によって位置を把握した。

調査結果

Ａ工区

Ａ工区は、地形的には南～北へ緩やかに下る緩傾斜の平坦地が主体を占め、所々に沢地形が存在する。主に平坦地を対象に57箇所のトレンチを設定した。この地区は特に南西～西寄りの部分において廃プレハブ小屋、温泉ボーリング管、コンクリート製の湯舟等が存在し、盛土・切土がされた場所や苗木が整然と植えられた場所など人の手が加わった形跡があり、各トレンチの土層を観察すると極めて薄い箇所や天地返しを受けている箇所が多く見られた。南西～西寄りに設定したトレンチにおいては遺構は確認できず、遺物が出土したトレンチも数箇所あるが、ほとんどが攪乱土や表土からの出土であり極めて散発的である。南東～東寄りの部分においては、土層の残存状態は比較的良好であり、10箇所のトレンチから遺構を確認した。

遺構が確認されたトレンチの概要は、トレンチ５＝弥生時代の土坑1基、平安時代の土坑1基、弥生時代の遺物。トレンチ７＝赤化面２箇所、縄文時代中期・弥生時代の遺物。トレンチ８＝弥生時代の竪穴式住居跡１軒、弥生時代の土坑１基、弥生時代の遺物。トレンチ15＝弥生時代の竪穴式住居跡２軒、弥生時代の土坑２基、弥生時代の遺物。トレンチ17＝平安時代の製炭土坑１基。トレンチ18＝平安時代の製炭土坑２基。トレンチ28＝弥生時代の竪穴式住居跡１軒。トレンチ42＝弥生時代の土坑１基、弥生時代の遺物。トレンチ47＝弥生時代の土坑１基。弥生時代の遺物。トレンチ56＝平安時代の製炭土坑１基である。

土取場

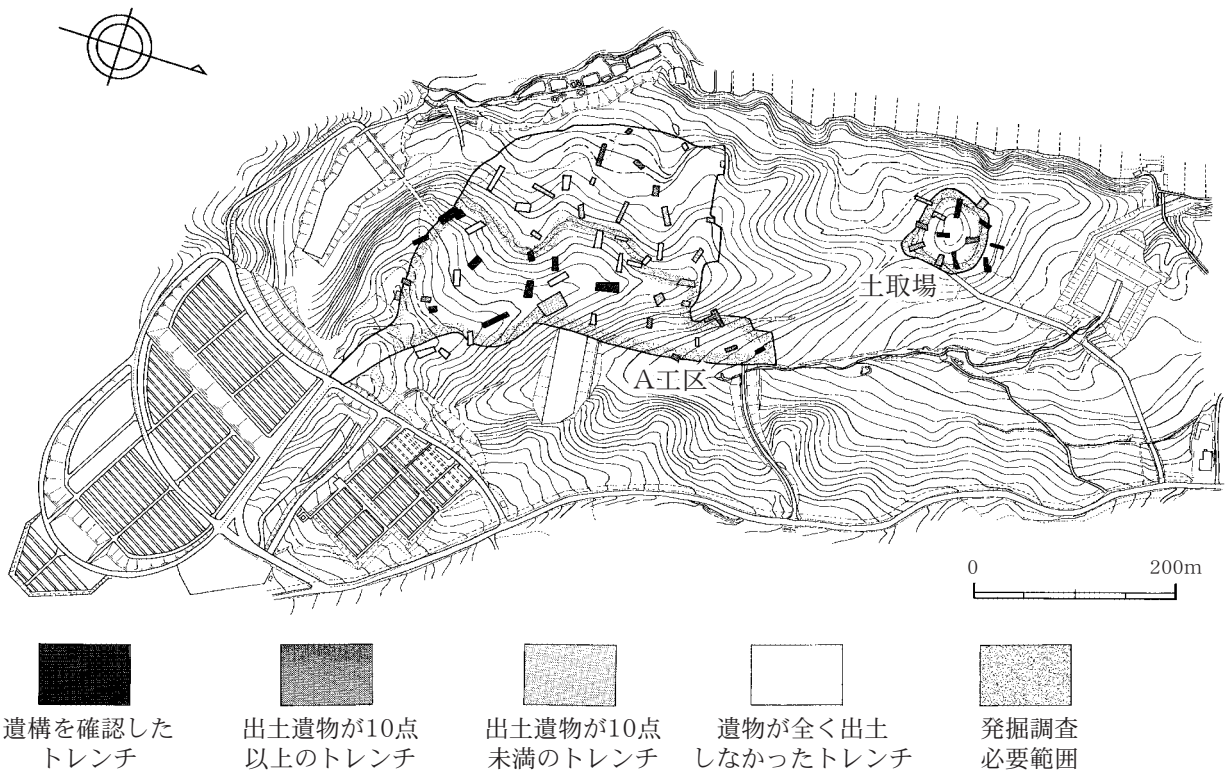
土取場は地形的にはなだらかな円錐状を呈する。昨年度の試掘調査において平安時代の集落跡を検出した調整池部分からの直線距離は約100mである。13箇所のトレンチを設定した。Ａ工区に比べて土層の残存状況は比較的良好であった。６箇所のトレンチから遺構を確認した。

遺構を確認したトレンチの概要は、トレンチ５＝平安時代の竪穴式住居跡１軒、時期不明の溝状遺構１基、弥生時代の遺物。トレンチ７＝平安時代の竪穴式住居跡２軒、製炭土坑１基、弥生・平安時代の遺物。トレンチ８＝平安時代の円形周溝１基、竪穴遺構１基、溝状遺構１基、弥生・平安時代の遺物。トレンチ９＝平安時代の溝状遺構１基（トレンチ８から延長)、弥生時代の遺物。トレンチ11＝平安時代の竪穴式住居跡２軒、弥生・平安時代の遺物。トレンチ12＝平安時代の竪穴式住居跡１軒、土坑１基、弥生・平安時代の遺物である。

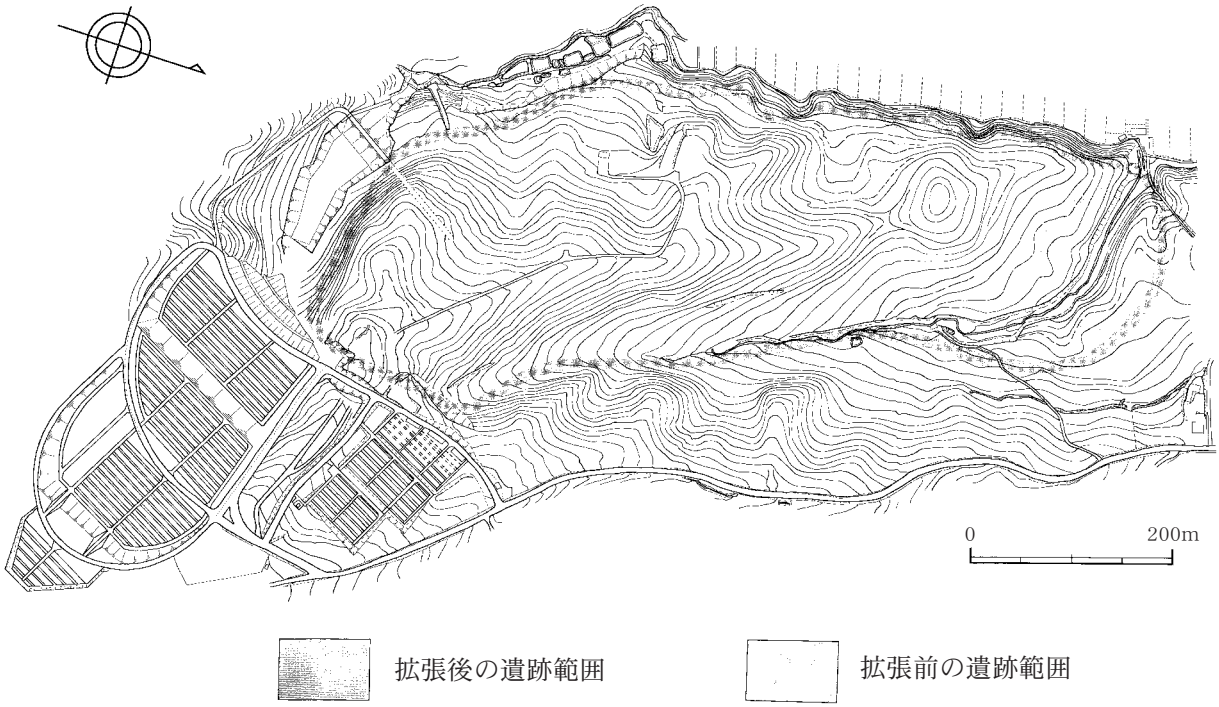
まとめ

試掘調査の結果､調査対象範囲のほぼ全域にわたって縄文～平安時代の遺物が出土していることから、八甲田霊園第２期造成工事予定地全域が縄文時代～平安時代の複合遺跡（弥生～平安時代が主体）であると考えられ、昨年度の試掘調査で推定した遺跡の範囲は、南側へ大きく拡張される。Ａ工区部分と土取場部分において確認した遺構・遺物の内容を比較すると、Ａ工区部分は弥生時代を主体とし、土取場部分は平安時代を主体としている。

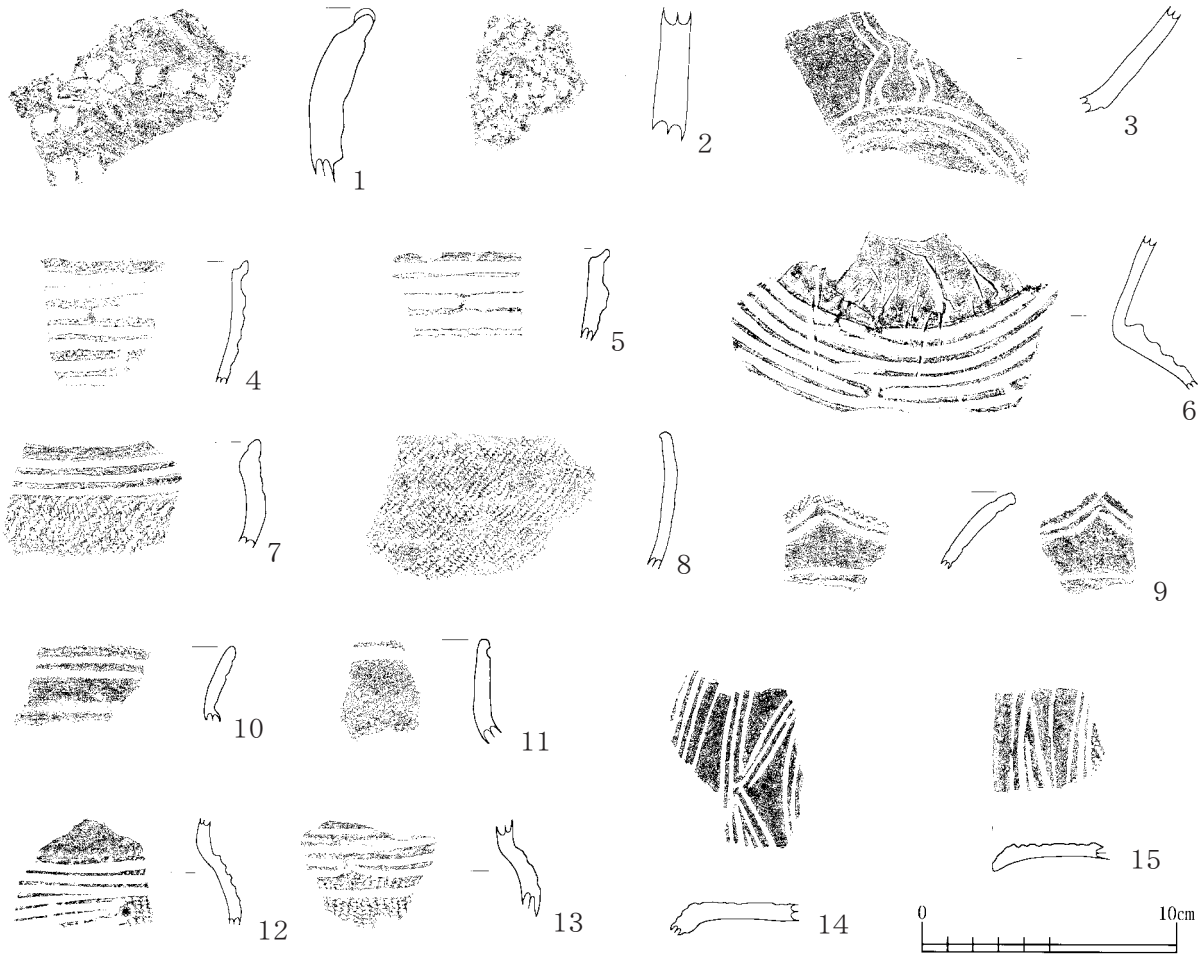
トレンチによって確認された遺構・遺物の広がりからみて発掘調査が必要と考えられる面積については、Ａ工区部分においては27,000㎡、土取場部分においては4,774㎡となった。事業者側との協議の結果、来年度から継続して発掘調査を行うこととなった。（設　楽）



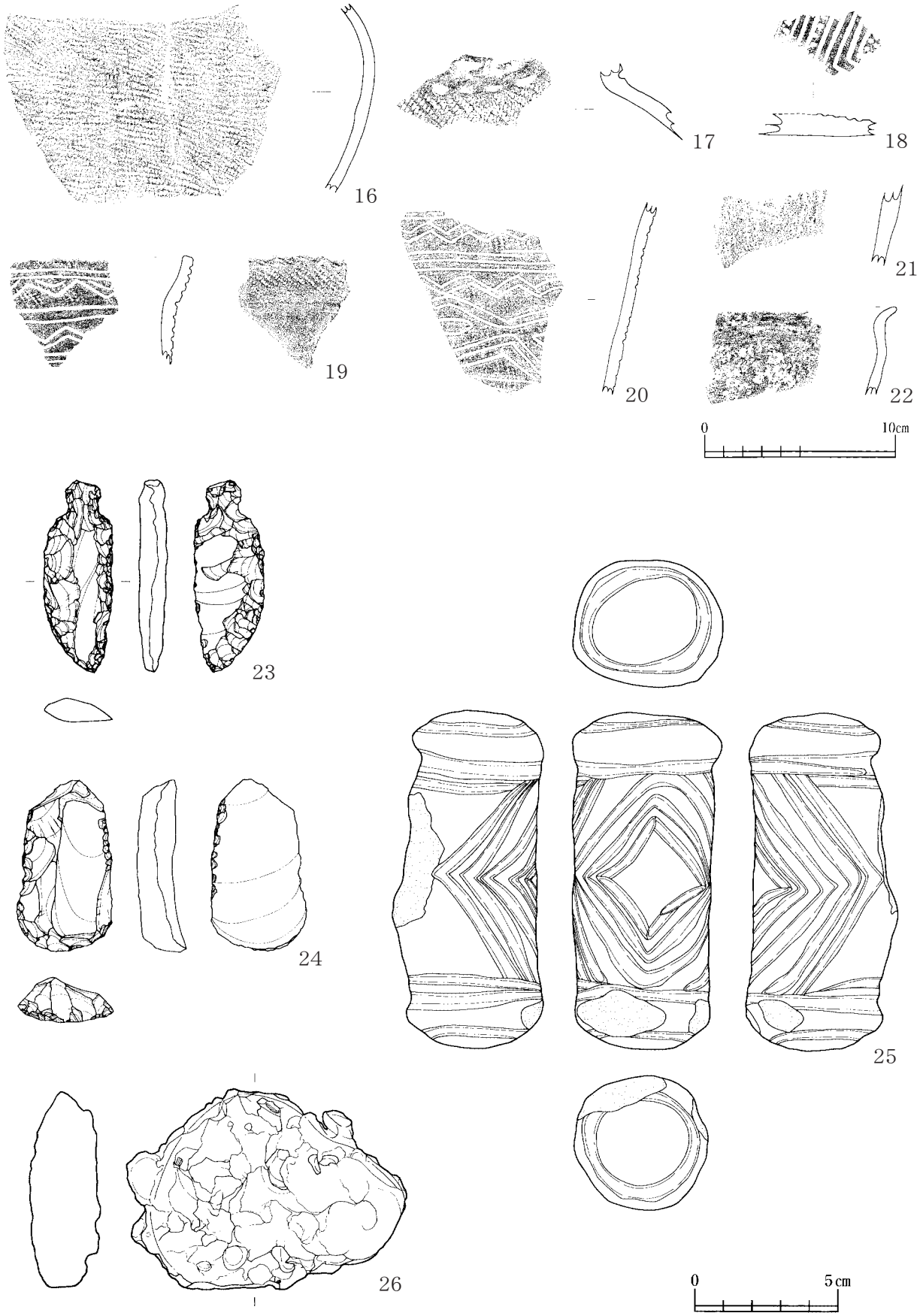
第16図　トレンチ配置図



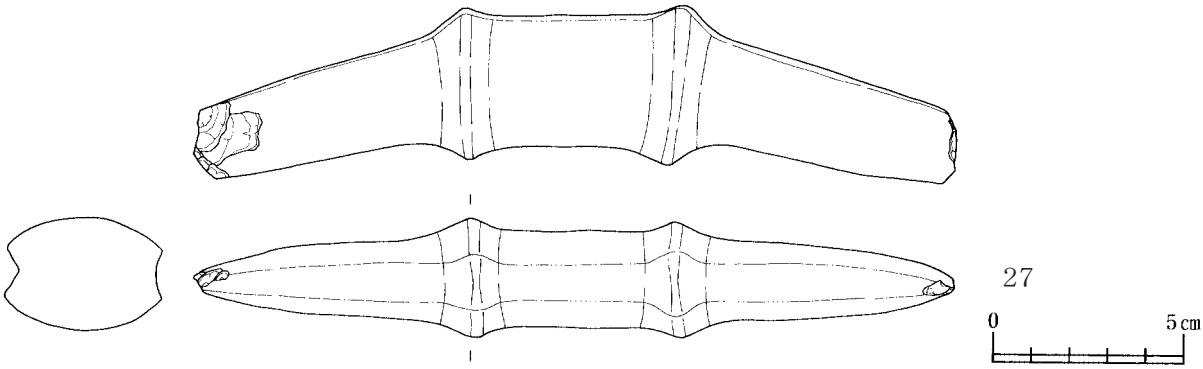
第17図　遺跡範囲図



第18図　出土遺物①



第19図　出土遺物②



第20図　出土遺物③

トレンチ５（S→）

トレンチ56（S→）

トレンチ18（E→）

トレンチ28（N→）

トレンチ42（W→）

トレンチ15（S→）

トレンチ47（N→）

トレンチ12（S→）

トレンチ５（E→）

トレンチ７（S→）

トレンチ６（N→）

トレンチ８（E→）

写真６

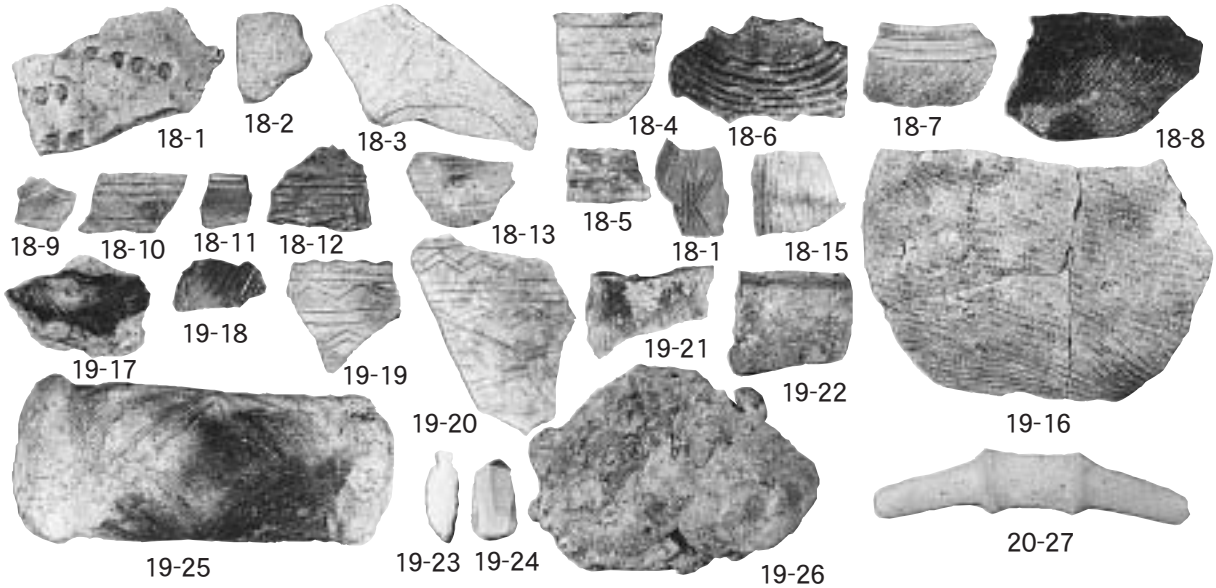


写真 7

第 6 表　出土遺物観察表

図版番号	出土区	層位	種別	器種	外面調整	内面調整	備考
18－1	A工区トレンチ51	表土	縄文土器	深鉢	刺突・ナデ	ナデ	縄文中期
18－2	A工区トレンチ7	表土	縄文土器	深鉢	RL結束第1種	ナデ	縄文中期
18－3	土取場トレンチ5	Ⅳ	縄文土器	鉢	沈線	ナデ	縄文後期
18－4	土取場トレンチ11	表土	縄文土器	台付鉢？	太い沈線による工字文	ナデ	縄文晩期
18－5	土取場トレンチ6	Ⅳ	縄文土器	台付鉢？	太い沈線による工字文	ナデ	縄文晩期
18－6	土取場トレンチ6	Ⅳ	縄文土器	壺	太い沈線による工字文	ナデ・ミガキ	縄文晩期
18－7	A工区トレンチ50	Ⅲ	縄文土器	鉢	太い横位沈線	ナデ	縄文晩期
18－8	土取場トレンチ5	Ⅳ	縄文土器	深鉢	LR	ナデ	縄文晩期
18－9	A工区トレンチ15土坑	Ⅲ	弥生土器	高杯	LR・沈線	ナデ	弥生前期
18－10	A工区トレンチ16住居?	Ⅲ	弥生土器	壺	沈線	ナデ	弥生前期
18－11	A工区トレンチ7	表土	弥生土器	壺	沈線	ナデ	弥生前期
18－12	A工区トレンチ50	Ⅲ	弥生土器	壺	変形工字文・LR	ナデ	弥生前期
18－13	A工区トレンチ15住居?	Ⅲ	弥生土器	壺	変形工字文・LR	ナデ	弥生前期
18－14	A工区トレンチ15土坑	Ⅲ	弥生土器	蓋	変形工字文	ナデ	弥生前期
18－15	A工区トレンチ15住居?	Ⅲ	弥生土器	蓋	変形工字文	ナデ	弥生前期
19－16	A工区トレンチ50	Ⅲ	弥生土器	壺	RL	ナデ	弥生前期？
19－17	A工区トレンチ48	Ⅲ	弥生土器	壺	刺突・RL	ナデ	弥生中期
19－18	A工区トレンチ15土坑	Ⅲ	弥生土器	壺	刺突・沈線	ナデ	弥生中期
19－19	A工区トレンチ15住居?	Ⅲ	弥生土器	深鉢	平行沈線文・鋸歯文	ナデ・磨消縄文	弥生後期
19－20	A工区トレンチ15住居?	Ⅲ	弥生土器	深鉢	平行沈線文・鋸歯文	ナデ・磨消縄文	弥生後期
19－21	土取場トレンチ7	Ⅱ	土師器	甕	ナデ	ナデ	平安
19－22	土取場トレンチ7	Ⅱ	土師器	甕	ナデ	ナデ	平安
図版番号	出土区	層位	種別	種類	文様等		備考
19－23	土取場トレンチ7	Ⅲ	石器	石匙	—		縄文？
19－24	A工区トレンチ14	Ⅰ	石器	石箆	—		縄文？
19－25	土取場トレンチ6	Ⅲ	土製品	不明	重菱形文・平行沈線		弥生後期
19－26	土取場トレンチ12	Ⅲ	鉄滓	椀形鍛冶滓	—		平安
20－27	A工区トレンチ38	攪乱	石器	独鈷石	スリ		縄文晩期？

第５節　月見野地区：東北新幹線建設に伴う土捨場造成予定地内試掘調査

調査対象等

１．調査地：青森市大字駒込字深沢１－56ほか
２．開発行為：土捨場造成
３．調査期間：平成13年７月16日～８月６日

調査に至る経過

日本鉄道建設公団（以下鉄建公団）は、現在工事が進行中である東北新幹線八甲田トンネル工事関連で排出する土砂の土捨場を青森市都市整備部都市政策課新幹線対策室と協議のうえ、青森市月見野森林公園敷地内に計画し、平成13年２月に都市政策課は庁内の関係各課に意見を求めた。文化財課では、現在のところ予定地内では周知の埋蔵文化財包蔵地が登録されていないが、付近には周知の埋蔵文化財包蔵地が確認されていることから、協議の必要性を要する旨の回答を提示した。平成13年度の工事着工前に再度協議となり、現地及び現地周辺を踏査したところ、時期不明ではあるが、開発予定地周辺から製炭土坑の一部が切土された法面に露出していることが確認された。現地の標高が145～160ｍと青森市内では高地の部類に入るが遺跡所在の可能性があることが予想された。

そこで、予定地内に対する埋蔵文化財包蔵地の有無について確認する必要性が生じ、当委員会では工事対象予定地区約40,000㎡に対して試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無確認を行うこととした。

調査方法

調査前の現況が山林であったため、先行して伐採を依頼し、伐採後重機ならびに人力による掘削で堆積土の厚さ、遺構・遺物の有無確認を優先して調査にあたった。トレンチの総数は76、総調査面積は3,245㎡である。

調査結果

調査結果の記述に際して、トレンチ毎の調査結果を記述する。

トレンチ１＝45㎝、２＝45㎝・ピット１基、３＝55㎝・ピット１基、４＝47㎝・土坑１基・土器片出土、５＝37㎝、６＝46㎝、７＝25㎝、８＝48㎝、９＝45㎝・土器片出土、10＝35㎝、11＝44㎝、12＝51㎝、13＝55㎝、14＝55㎝・ピット３基、15＝61㎝・ピット１基、16＝60㎝・土坑１基・ピット３基、17＝67㎝、18＝71㎝、19＝48㎝、20＝39㎝、21＝32㎝、22＝37㎝・流路跡、23＝32㎝、流路跡、24＝58㎝、25＝45㎝・土坑？、26＝46㎝、27＝60㎝、28＝34㎝、29＝33㎝、30＝26㎝・土坑３基・溝跡１条・焼土遺構１基、31＝32㎝・ピット２基、32＝35㎝・土坑１基、33＝24㎝、34＝40㎝・性格不明遺構？１基、35＝42㎝、36＝39㎝・土坑２基、37＝45㎝・砲弾出土、38＝33㎝・土坑１基、39＝33㎝・土坑１基、40＝30㎝・ピット２基・土器片出土、41＝40㎝、42＝35㎝・ピット２基、43＝34㎝・土坑１基・ピット２基、44＝32㎝、45＝37㎝、46＝30㎝・砲弾出土、47＝47㎝、48＝31㎝・ピット１基・土器片出土、49＝35㎝・ピット１基、50＝45㎝・土器片出土、51＝34㎝・土坑１基、52＝30㎝・土器片中量出土、53＝28㎝・土坑２基、54＝25㎝、55＝44㎝・ピット２基、56＝34㎝・土坑１基、57＝58㎝・ピット１基、58＝40㎝、59＝37㎝、60＝41㎝、

61＝35㎝・土坑１基、62＝50㎝、63＝56㎝・ピット２基、64＝52㎝、65＝51㎝、66＝55㎝、67＝66㎝、68＝55㎝、69＝39㎝、70＝45㎝・ピット？１基、71＝53㎝、72＝60㎝・ピット？１基、73＝42㎝、74＝63㎝、75＝41㎝、76＝55㎝

検出遺構は南側の斜面及び緩やかな沢地周辺から検出した。トレンチ30からは平安時代の土師器が流路から出土しており、周辺には土坑及び焼成が行われた焼土遺構が検出しており、該期に生活が営まれたと判断できる。また、縄文土器が丘陵の頂部であるトレンチ９・40・48・50で出土しており、縄文時代前期・中期・晩期の深鉢形土器の破片が出土している。明確な遺構の検出が認められなかったが、キャンプサイト等の小規模な集落跡が周辺に存在する可能性が考慮される。

本調査区周辺で確認された製炭土坑は調査区内からも検出している。降下火山灰の検出や遺物の出土が認められなかったため詳細な帰属時期については現時点で不明である。

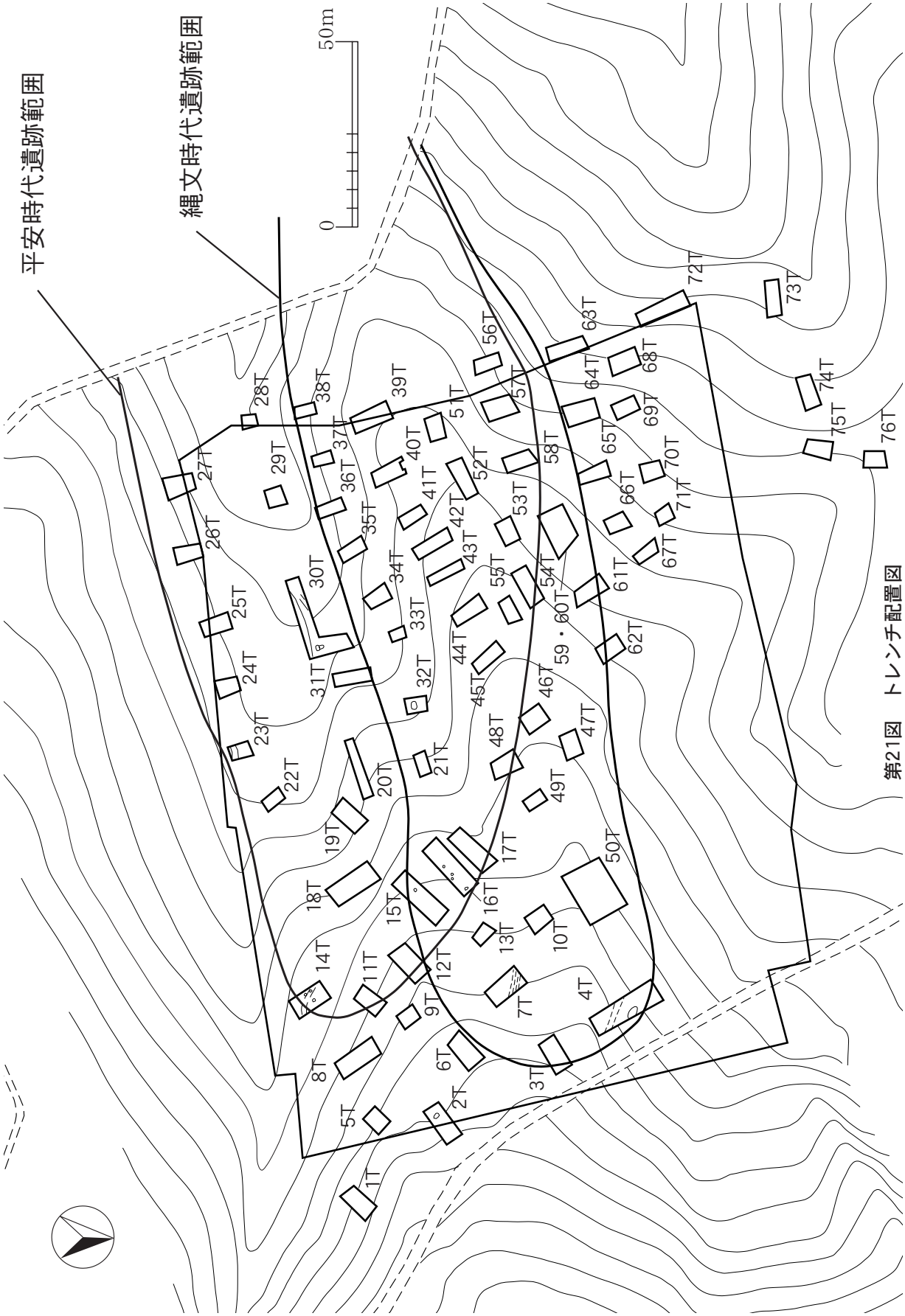
また、トレンチ37・46から砲弾が出土し、県警への届出の後、自衛隊に処理を実施していただいた。トレンチ37から出土した砲弾は八十八式野戦砲で、昭和十二年六月製の刻印がなされており、本調査区を含めた現月見野森林公園敷地内が旧陸軍の演習場であったことが確認された。

調査の結果、本調査区内は深沢（３）遺跡（青森県遺跡台帳番号０１３１１）として新規登録を行い、鉄建公団との協議の結果、本発掘調査を平成13年10月11日～11月９日まで青森市教育委員会が受託し実施した。発掘調査は平成14年度も継続予定である。

（木　村）

第７表　深沢(3)遺跡出土土器観察表

図版番号	出土区	層位	種別	器種	外面調整	内面調整	備考
22-1	トレンチ４	黒色土	縄文土器	深鉢	撚糸Ｒ圧痕	ミガキ	縄文前期
22-2	トレンチ50	漸移層	縄文土器	深鉢	単軸絡条体１類	ミガキ	縄文前期
22-3	トレンチ４	黒色土	縄文土器	深鉢	ＲＬＲ	ミガキ	縄文前期
22-4	トレンチ40	黒色土	縄文土器	深鉢	撚糸Ｌ圧痕、 貼付隆帯、ＲＬ	ミガキ	縄文中期
22-5	トレンチ52	黒色土	縄文土器	深鉢	ＬＲ	粗いナデ	縄文晩期
22-6	トレンチ52	黒色土	縄文土器	深鉢	ＬＲ	粗いナデ	縄文晩期(5と同一)
22-7	トレンチ52	黒色土	縄文土器	深鉢	ＬＲ、ミガキ	粗いナデ	縄文晩期(5・6と同一)



第21図　トレンチ配置図

遺跡近景（S→）

トレンチ２（SE→）

トレンチ３（SE→）

トレンチ４（SE→）

トレンチ７（E→）

トレンチ15（SE→）

トレンチ16（E→）

トレンチ21（SW→）

写真８　深沢（３）遺跡①

トレンチ25（S→）

トレンチ39（NW→）

トレンチ40（N→）

トレンチ43（S→）

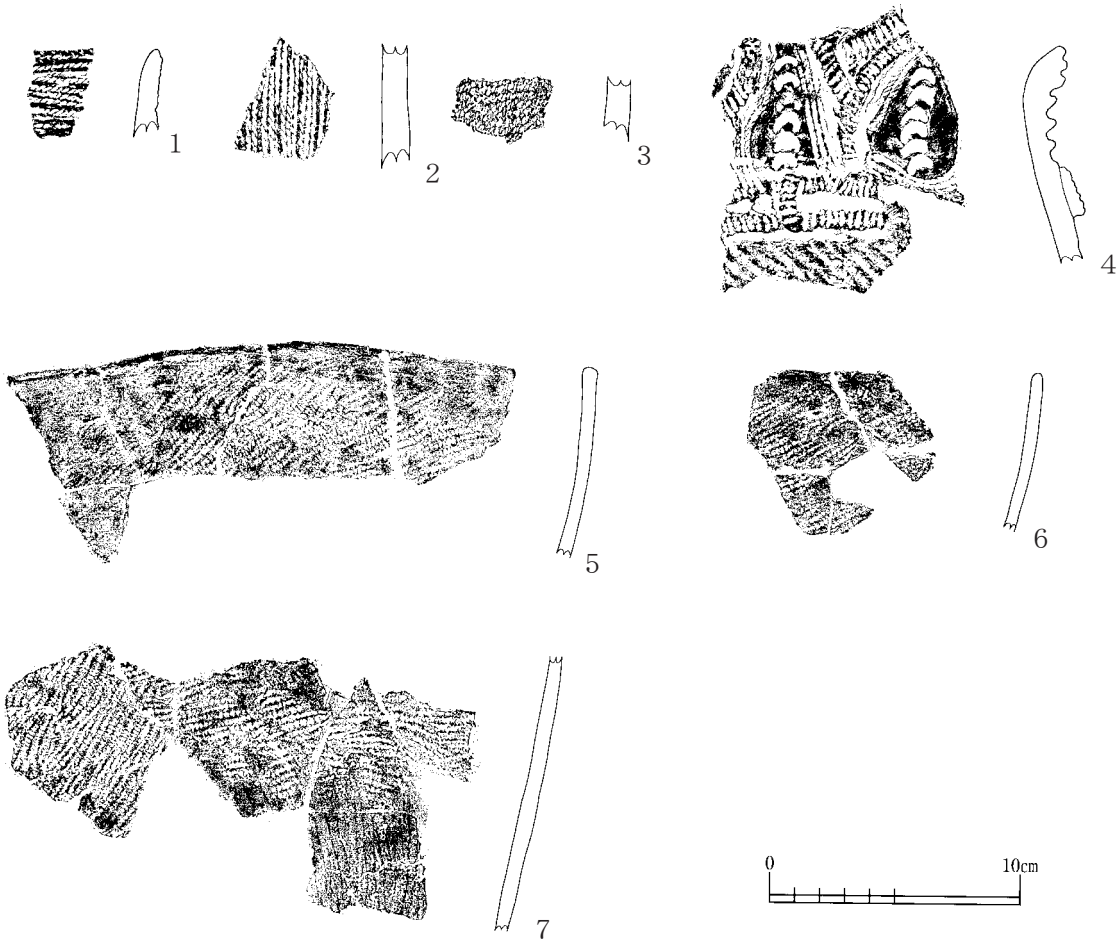
トレンチ51（N→）

トレンチ56（E→）

トレンチ61（S→）

トレンチ65（SE→）

写真９　深沢（３）遺跡②



第22図　出土土器

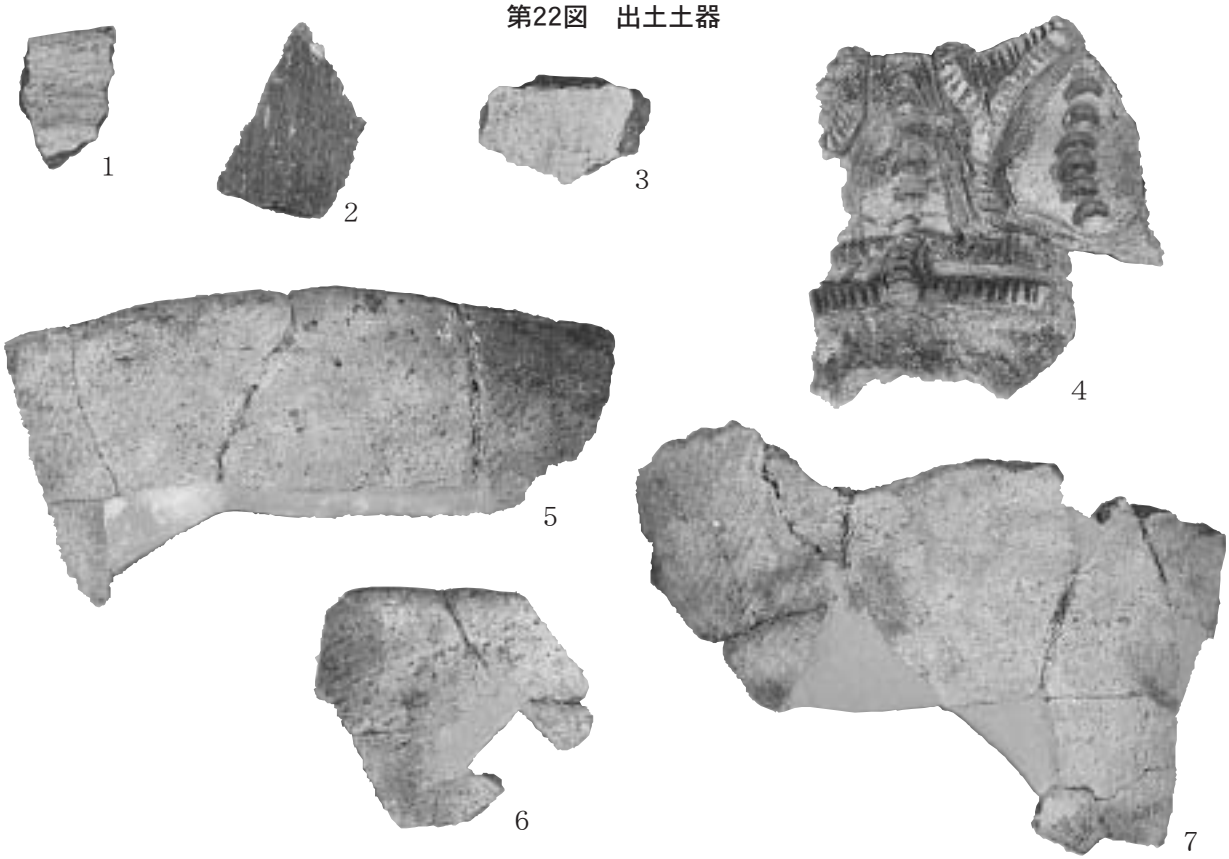


写真10　出土土器

第６節　三内沢部（３）遺跡

調査対象等

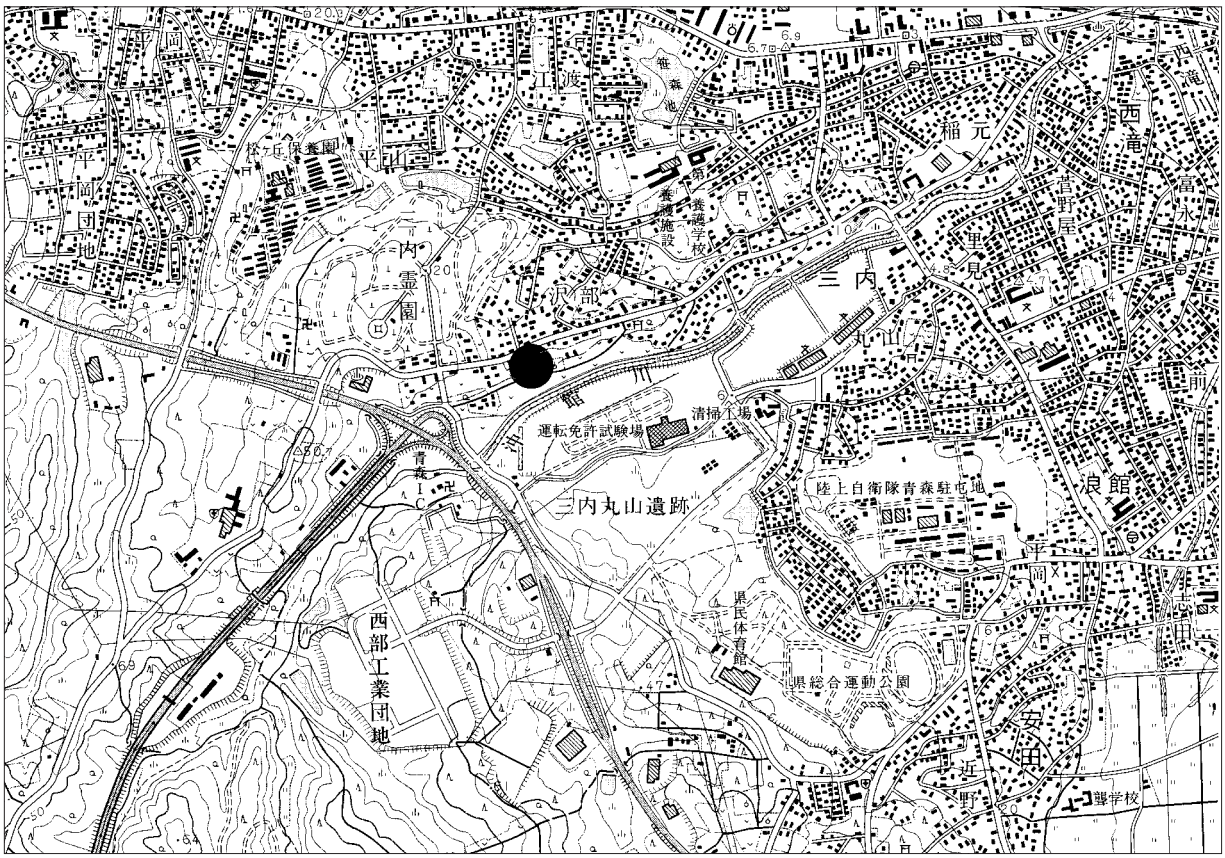
1. 調査地：青森市大字三内字沢部315－１
2. 開発行為：共同住宅建設
3. 調査期間：平成13年８月22日

調査に至る経過

平成13年７月下旬に開発予定者が文化財課に来課し、予定地内に埋蔵文化財包蔵地有無確認を実施したが、開発予定地が周知の遺跡である三内沢部（３）遺跡（青森県遺跡台帳番号０１２３９）内に該当することが判明した。三内沢部（３）遺跡は踏査により遺跡として認定されているが、具体的調査事例はなくその状況が不鮮明であった点と開発計画における遺跡所在が開発予定者にとって大きな負担となる点を鑑み、埋蔵文化財保護と開発との円滑な調整をはかるため、確認調査を実施することとした。

調査方法

開発予定地内約4,000㎡内を重機によるトレンチ掘りで任意に7地点を掘削し、鋤簾がけにより遺構の有無確認を実施した。実施日が雨天であった影響もあり、総調査面積は約280㎡である。



第23図　位置図

調査結果

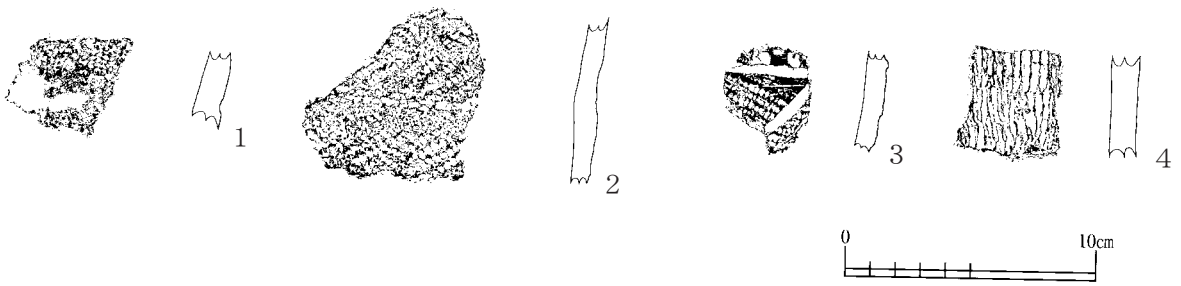
調査結果の記述に際して、トレンチ毎の調査結果を記述する。
トレンチ１＝土坑２基、溝跡３条・土器片出土、トレンチ２＝ピット２基・溝跡１条、トレンチ３＝風倒木、トレンチ４＝土坑２基・土器片出土、トレンチ５＝溝跡２条・土器片出土、トレンチ６＝竪穴住居跡１軒・溝跡１条、トレンチ７＝撹乱部分有・土器片・鉄滓出土

検出した遺構は縄文時代の土坑、平安時代の竪穴住居跡、それ以降に構築された溝跡などで、周知の遺跡三内沢部（３）遺跡に該当することが判明した。調査の結果開発予定地内は全面発掘調査が必要と判断された。調査結果に基づき現在開発予定者と協議を継続中である。

（木　村）

第８表　三内沢部(3)遺跡出土遺物観察表

図版番号	出土区	層位	種別	器種	外面調整	内面調整	備考
24-1	調査区	表採	縄文土器	深鉢	ＬＲ？（摩滅）	ミガキ？	縄文
24-2	トレンチ４	ＳＫ覆土上	縄文土器	深鉢	結束ＬＲ	ナデ	縄文中期
24-3	トレンチ３	包含層	縄文土器	深鉢	ＲＬ、沈線、刺突	ミガキ	縄文中期
24-4	トレンチ１	包含層	縄文土器	深鉢	Ｌ	ミガキ	縄文
写真11-5	トレンチ７	撹乱層	鉄滓				平安



第24図　出土土器

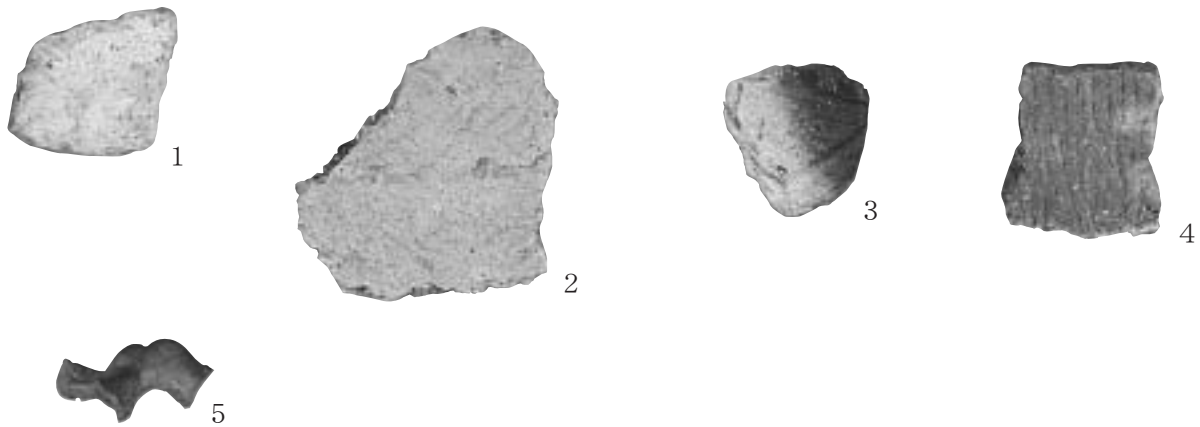
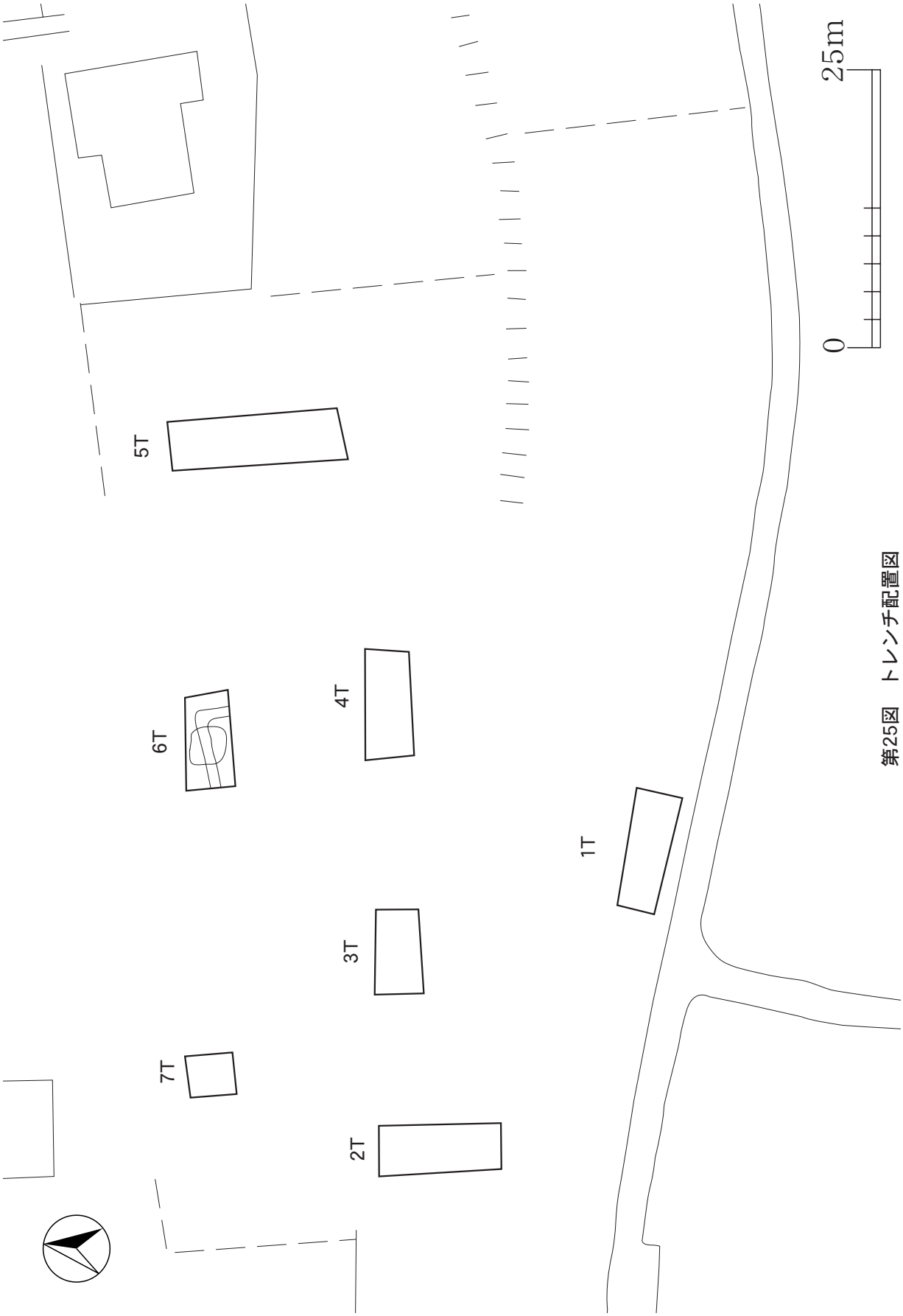


写真11　出土遺物



第25図　トレンチ配置図

トレンチ１（NW→）

トレンチ２（S→）

トレンチ３（S→）

トレンチ４（SE→）

トレンチ５（SW→）

トレンチ６（SE→）

トレンチ７（E→）

写真12　三内沢部（３）遺跡

第７節　石江地区：石江土地区画整理事業予定地内試掘・確認調査

調査対象等

1. 調査地：青森市大字石江字高間122－１ほか
2. 開発行為：土地区画整理事業
3. 調査期間：平成13年10月15日～11月２日

調査に至る経過

青森市（所管：石江区画整理事務所）は、現在進行中の東北新幹線八戸～新青森間の新青森駅周辺の石江地区について土地区画整理事業を実施する計画をした。予定地内には周知の遺跡が９遺跡所在することが確認されているが、その内容等については不鮮明な状況であり、開発との調整において基礎資料が不足している状況にあった。

区画整理事業の対象範囲は約46haにものぼることから平成13・14年度の２カ年で試掘調査を実施し、開発との円滑な調整をはかることとなった。第１年次の平成13年度は10月15日～11月22日までで約50,000㎡を対象として高間（６）遺跡（青森県遺跡台帳番号０１０７５）周辺部と西バイパス（２）遺跡（０１０７８）内を試掘・確認調査を実施することとなった。

調査方法

調査対象地区を重機によるトレンチ掘りを任意に実施し、遺構・遺物の有無確認を優先して調査にあたった。調査開始時期が秋口の雨水が多い時期であり、調査対象地が微丘陵地から沖積地部分にあたり、沖積地部分は泥炭層の堆積が３m以上にも及び、湧水も著しく付近に小学校や宅地等調査実施時間以外での安全面が確保できなかったことから１m以上の掘削深度に及ぶものについては、土層確認後埋め戻しを即座に行うように心がけた。

調査結果

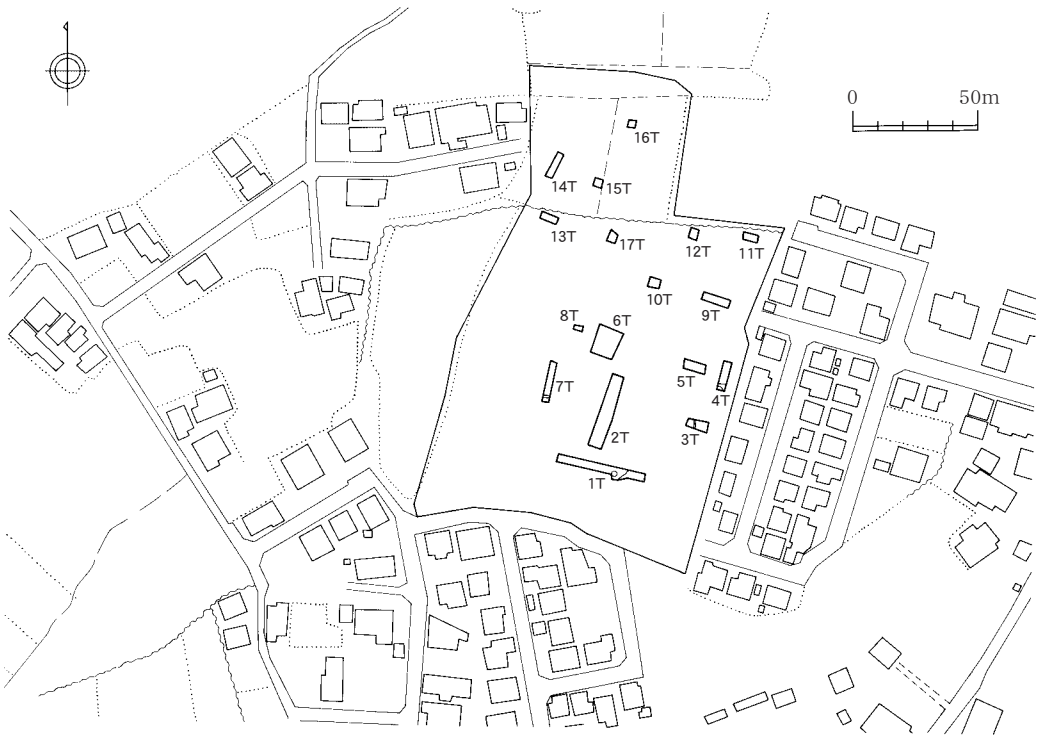
試掘調査途中、トレンチ８の地下3.5mの位置から太平洋戦争時に米軍が投下した焼夷弾が出土し、薬莢内に残存していた黄燐の一部が発火し、県警を経由し自衛隊に回収していただいた。当委員会では作業上の安全対策等の取り決めを行っていなかったため、今年度の調査を11月２日付けで中止することにした。

そのため、調査成果については当初の対象面積である約50,000㎡を大幅に下回る約18,000㎡の区域内の調査にとどまり、調査区内でも平安時代の文化層直上で止めているトレンチもあることから、次年度その地点については再調査を実施する予定である。

掘削を行ったトレンチは17地点に及ぶが、高間（６）遺跡に近接したトレンチ1は沖積地へ開ける微丘陵の先端部にあたり、溝跡と焼成坑１基が検出した。焼成坑１基は堆積層にＢ－Ｔm火山灰が堆積しており、平安時代以前に構築されたものと判断される。また、現在の住宅地に近接した東側のトレンチ３・４からは溝跡と陶磁器片が出土している。それ以外にトレンチ６からは木簡１点が出土しており、両面に墨痕が確認される。上部に穿孔が施されており、表面は「佐」、裏面は判読不能である。

掘削作業を中断した際、調査区周辺に隣接する高間（３）遺跡（０１０７２）、高間（４）遺跡

※ アミ部分が平成13年度調査対象区域



第26図　調査対象区域図（上段）及びトレンチ配置図（下段）

（０１０７３）、西バイパス（２）遺跡で現地踏査を実施した。土地立ち入り等で土地所有者の承諾を得られた高間（４）遺跡、西バイパス（２）遺跡から土師器片を中心とする遺物を採取した。これらの遺跡については、次年度実施予定の調査で具体的な内容を確認する予定である。

（木　村）

トレンチ１（E→）

トレンチ１内検出土坑（W→）

トレンチ２（S→）

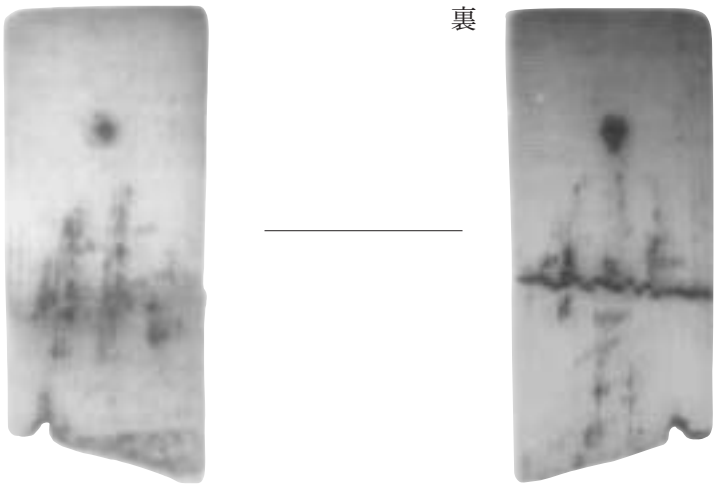
トレンチ６（S→）

トレンチ11（W→）

トレンチ14（S→）

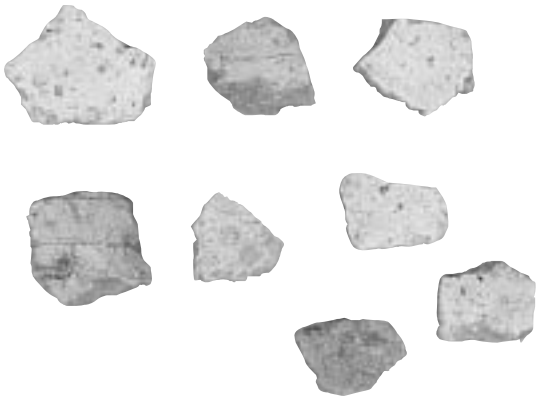
写真13　高間（６）遺跡

表　　裏



高間(6)遺跡出土木簡
（赤外線写真）

高間（６）遺跡出土砥石



高間（４）遺跡採集土器

西バイパス（２）遺跡採集土器

写真14　出土遺物

ま と め

今年度、当委員会が実施した市内遺跡発掘調査事業に関して、試掘・確認調査の結果から新規登録遺跡１箇所、範囲変更２箇所の遺跡の変更がなされた。また、これまでの調査の成果に基づき遺跡の統合・名称変更が行われ９遺跡が５遺跡に変更になった。平成14年３月末現在で青森市内には周知の遺跡が307箇所の遺跡が所在することとなった。

昨年度以来当委員会で実施している試掘調査および確認調査の件数は増加傾向にある。これはこれまで整備の遅れていた庁内の関係課との連携や、事業者が直接来課し照会を実施する件数が増加していることが背景であるが、まだ途上の状況であることは否めないことから、さらに庁内外における連携の強化・改善を行い対応していくべき必要性がある。

最近では不動産業界の照会が多くを占めるようになり、インターネット上での遺跡地図の公開も求められている。また、一般市民の遺跡保護への関心も周知不足ということもあり、その啓蒙をより充実させていく必要性が迫られている。

折しも、これまで当委員会で刊行していた埋蔵文化財の普及パンフレット「いにしえ青森」をより内容を充実させたホームページとして本年度より公開している。また、次年度には遺跡台帳のデータベース化とともに、これまで５万分の１サイズの遺跡地図を１万分の１及び開発が進んでいる地域では２千５百分の１の地図で作成し、デジタル化する予定である。

今後は、これまでに登録されてきている遺跡範囲の検証や照会業務の迅速化を図るためのシステムを整備し、埋蔵文化財保護行政の推進に尽力する次第である。

（担当者一同）

報　告　書　抄　録

ふりがな	しないいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	市内遺跡発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第64集
編著者名	木村淳一、児玉大成、設楽政健
編集機関	青森市教育委員会
所在地	〒030-8555　青森県青森市中央一丁目22－5　TEL017－734－1111
発行年月日	西暦2002年3月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 (JGD2000)	東経 (JGD2000)	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
三内丸山(6) (さんないまるやま)	青森市大字三内字丸山 (あおもりしおおあざさんないあざまるやま) 381-40	02201	282	40°(40°) 47′(48′) 58″(8″)	140°(140°) 42′(42′) 15″(2″)	20010515	473	宅地分譲造成
深沢(1) (ふかざわ)	青森市大字駒込字深沢 (あおもりしおおあざこまごめあざふかざわ) 1185-10ほか	02201	233	40°(40°) 45′(45′) 38″(48″)	140°(140°) 49′(49′) 36″(23″)	20010523 ～ 20010530	1,505	土地調査
合子沢松森(2) (ごうしざわまつもり)	青森市大字合子沢字山崎 (あおもりしおおあざごうしざわあざやまざき) 128-1	02201	262	40°(40°) 45′(46′) 52″(1″)	140°(140°) 45′(45′) 44″(31″)	20010726	25	防火防水槽埋設工事
葛野(3) (くずの)	青森市大字大別内字葛野 (あおもりしおおあざおべつないあざくずの) 116-2	02201	308	40°(40°) 44′(45′) 50″(0″)	140°(140°) 40′(39′) 10″(57″)	20010509 ～ 20010706	5,308	公共事業
深沢(3) (ふかざわ)	青森市大字駒込字深沢 (あおもりしおおあざこまごめあざふかざわ) 1-56ほか	02201	311	40°(40°) 46′(46′) 26″(36″)	140°(140°) 49′(49′) 35″(22″)	20010716 ～ 20010806	3,245	土捨場造成
三内沢部(3) (さんないさわべ)	青森市大字三内字沢部 (あおもりしおおあざさんないあざさわべ) 315-1	02201	239	40°(40°) 48′(48′) 47″(57″)	140°(140°) 41′(41′) 42″(29″)	20010822	280	共同住宅建設
高間(6) (たかま)	青森市大字石江字高間 (あおもりしおおあざいしえあざたかま) 122-1ほか	02201	075	40°(40°) 49′(49′) 30″(40″)	140°(140°) 41′(41′) 52″(39″)	20011015 ～ 20011102	750	土地区画整理事業

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財１　1962『三内霊園遺跡調査概報』
〃　2　1965『四ツ石遺跡調査概報』
〃　3　1967『玉清水遺跡調査概報』
〃　4　1970『三内丸山遺跡調査概報』
〃　5　1971『野木和遺跡調査報告書』
〃　6　1971『玉清水Ⅲ遺跡発掘調査報告書』
〃　7　1971『大浦遺跡調査報告書』
〃　8　1973『孫内遺跡発掘調査報告書』
1979『蛍沢遺跡』
1983『四戸橋遺跡調査報告書』
青森市の埋蔵文化財　1983『山野峠遺跡』
〃　1985『長森遺跡発掘調査報告書』
〃　1986『田茂木野遺跡発掘調査報告書』
〃　1987『横内城跡発掘調査報告書』
〃　1988『三内丸山Ⅰ遺跡発掘調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書
〃　第16集　1991『山吹（1）遺跡発掘調査報告書』
〃　第17集　1992『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』
〃　第18集　1993『三内丸山（2）遺跡発掘調査概報』
〃　第19集　1993『市内遺跡発掘調査報告書』
〃　第20集　1993『小牧野遺跡発掘調査概報』
〃　第21集　1994『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第22集　1994『小三内遺跡発掘調査報告書』
〃　第23集　1994『三内丸山（2）・小三内遺跡発掘調査報告書』
〃　第24集　1995『横内遺跡・横内（2）遺跡発掘調査報告書』
〃　第25集　1995『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第26集　1995『桜峯（2）遺跡発掘調査報告書』
〃　第27集　1996『桜峯（1）遺跡発掘調査概報』
〃　第28集　1996『三内丸山（2）遺跡発掘調査報告書』
〃　第29集　1996『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第30集　1996『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃　第31集　1997『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第32集　1997『桜峯（1）遺跡発掘調査概報Ⅱ』
〃　第33集　1997『新町野遺跡試掘調査報告書』
〃　第34集　1997『葛野（2）遺跡発掘調査報告書』
〃　第35集　1997『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
〃　第36集　1998『桜峯（1）遺跡発掘調査報告書』
〃　第37集　1998『新町野遺跡発掘調査報告書』
〃　第38集　1998『野木遺跡発掘調査報告書』
〃　第39集　1998『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第40集　1998『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
〃　第41集　1998『野木遺跡発掘調査概報』
〃　第42集　1998『熊沢遺跡発掘調査概報』
〃　第43集　1999『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃　第44集　1999『葛野（2）遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
〃　第45集　1999『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
〃　第46集　1999『新町野・野木遺跡発掘調査概報』
〃　第47集　1999『稲山遺跡発掘調査概報』
〃　第48集　2000『熊沢遺跡発掘調査報告書』
〃　第49集　2000『稲山遺跡発掘調査概報Ⅱ』
〃　第50集　2000『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
〃　第51集　2000『桜峯（1）・雲谷山吹（3）遺跡発掘調査報告書』
〃　第52集　2000『大矢沢野田（1）遺跡調査報告書』
〃　第53集　2000『市内遺跡発掘調査報告書』
〃　第54集　2001『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ・野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
〃　第55集　2001『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』
〃　第56集　2001『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
〃　第57集　2001『稲山遺跡発掘調査概報Ⅲ』
〃　第58集　2001『大矢沢野田（1）遺跡発掘調査概報Ⅱ』
〃　第59集　2001『市内遺跡発掘調査報告書』
〃　第60集　2002『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』
〃　第61集　2002『大矢沢野田（1）遺跡発掘調査報告書』
〃　第62集　2002『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
〃　第63集　2002『稲山遺跡発掘調査概報Ⅳ』
〃　第64集　2002『市内遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書第64集

市内遺跡発掘調査報告書

発行年月日　平成14年３月29日
発　　行　　青森市教育委員会
　　〒030-8555　青森市中央一丁目22-5
　　TEL　017-734-1111

印　　刷　　第一印刷株式会社
　　〒038-0003　青森市石江字江渡3-1
　　TEL　017-782-2333